

第3期宇都宮市中心市街地活性化基本計画の策定にあたって

私たちのまち、宇都宮の中心市街地は、人や企業の活動を支え、活力と賑わいを生み出す様々な機能が集積するとともに、いつの時代にあっても、歴史・文化の薫る本市の顔、そして市民の心の拠り所や誇りとなる場であり、多くの人が集い、歩いて回遊しながら、楽しさや心地よさを感じることができる機能的で美しい空間であることが重要と考えています。

そのため、本市におきましては、中心市街地の活性化を図る上でのまちづくりに対する共通かつ明確な長期ビジョンとして、平成14（2002）年8月に「宇都宮市都心部グランドデザイン」を策定し、グランドデザインの具現化に向けて、平成22（2010）年3月には「宇都宮市中心市街地活性化基本計画」、平成27（2015）年3月には「第2期宇都宮市中心市街地活性化基本計画」を策定し、各種活性化事業に取り組んできたところです。

こうした取組が功を奏し、近年では、中心市街地における空き店舗は減少し、週末の夜間の通行量も増加するなど、活気と賑わい溢れる中心市街地になってきており、更なる発展に向けては、今後予定されている、「駅東側のLRTの開業」や「駅東口のまちびらき」という大きなインパクトを中心市街地全体に波及させることはもちろん、将来的な「駅西側へのLRTの延伸」も見据え、「人とLRTの共存」も念頭に、歩いて楽しい中心市街地を描いていくことが必要です。

こうした中心市街地を取り巻く環境の変化に的確に対応していくため、LRTの導入も見据えた今後10年先のまちの将来を見通しながら、より一層の活力と魅力ある中心市街地の形成を図るための「第3期宇都宮市中心市街地活性化基本計画」を策定いたしました。

今後、本計画の目指す将来像である「うごく つながる 心躍る みんなで創る 宮の街なか」の実現に向けて、邁進してまいりますので、より一層のご理解とご協力、そして、まちづくりに関わる皆様方の積極的なご参画をお願い申し上げます。

結びに、本計画を策定するにあたり、貴重なご意見を賜りました中心市街地活性化協議会委員の皆様をはじめ、関係機関・団体の皆様、パブリックコメントをお寄せいただいた方々など、多くの皆様に心から厚くお礼申し上げます。

令和2年 3月
宇都宮市長 佐藤 栄一

目次

第3期宇都宮市中心市街地活性化基本計画の策定にあたって

第1章 第3期中心市街地活性化基本計画の策定

1. 計画の概要	2
(1) 計画策定の目的	2
(2) 計画期間	2
(3) 計画の位置づけ	2
2. 計画区域	4
(1) 区域設定の考え方	4
(2) 区域の面積	5
(3) 計画区域の境界	5

第2章 中心市街地を取り巻く環境

1. 時代潮流	8
(1) SDGsへの貢献に向けた取組の推進	8
(2) スマートシティの推進	9
(3) 「居心地が良く歩きたくなるまちなか」からはじまる都市の再生	10
2. 中心市街地の現状	11
(1) 中心市街地における地域資源の状況	11
(2) 中心市街地における本市の主な取組	18
(3) 中心市街地に関する統計的なデータの把握・分析	20
3. 第2期計画の実施状況と取組評価	46
(1) 第2期計画の概要	46
(2) 事業の進捗状況	47
(3) 数値目標の達成状況	50
(4) 第2期計画の総括	52

第3章 中心市街地活性化への課題整理と取組方針

1. 中心市街地活性化への課題	54
2. 中心市街地活性化の取組方針	55

第4章 中心市街地の活性化の目標

1. 中心市街地の将来像	58
2. 中心市街地の活性化に向けた施策と施策目標	59

3. 中心市街地の活性化戦略	61
(1) 活性化戦略1	61
(2) 活性化戦略2	64
4. 目標指標の設定	67
(1) 目標指標設定の考え方	67
(2) 目標値の設定	68

第5章 中心市街地の活性化に向けて取り組む事業

1. 「活力向上」事業	79
2. 「魅力向上」事業	82
3. 「賑わい創出」事業	85
4. 「居住促進」事業	90
5. 「仕組みづくり」事業	92

第6章 推進体制

計画の推進に向けて	96
(1) 計画の推進体制について	96
(2) 計画の進行管理	98

第 1 章

第 3 期中心市街地活性化基本計画の策定

第1章 第3期中心市街地活性化基本計画の策定

1. 計画の概要

(1) 計画策定の目的

本市では、ネットワーク型コンパクトシティの中核となる「都市拠点」としてふさわしい活力と賑わいあふれる中心市街地の形成に向け、平成27(2015)年3月に「第2期宇都宮市中心市街地活性化基本計画」(以下、「第2期計画」という。)を策定し、令和元(2019)年度までの5年を計画期間として、各種活性化事業を推進してきました。

これらの取組により、空き店舗数は減少し、週末の夜間を中心として通行量が増加するなど、賑わいや活気が出てきている状況にありますが、その一方で、平日の昼間における通行量は伸び悩んでおり、事業所数は減少傾向にあることから、恒常的な賑わい創出や経済活力の向上に向け、更なる活性化の推進が必要です。

こうしたことから、LRTの導入も見据えた今後10年先のまちの将来を見通しながら、より一層の活力と魅力ある中心市街地の形成を図るため、「第3期宇都宮市中心市街地活性化基本計画」(以下、「第3期計画」という。)を策定するものです。

(2) 計画期間

第3期計画の計画期間は、各種活性化事業への着手及び事業実施効果が発現する期間として、令和2(2020)年4月から令和7(2024)年3月までの5年間とします。

■ 中心市街地活性化の変遷

第1期計画 H22(2010)年4月～ H27(2015)年3月	第2期計画 H27(2015)年4月～ H32(2020)年3月	第3期計画 R2(2020)年4月～ R7(2025)年3月	将来的に目指すもの (都心部グランドデザイン)
○衰退する中心市街地の賑わい回復 ・居住人口、交流人口の増加 ・中心商業地の再生など	○都市拠点の形成と地域経済の活性化 ・長期的なまちづくりを見据えた都市機能の集積による賑わいの基盤・環境づくり ・民間事業者による経済活力の向上 など	○LRTの導入も見据えた今後10年先のまちの将来を見通しながら、より一層の活力と魅力ある中心市街地の形成	○本市の持続的な発展に資する「都市拠点」の形成 ・2核2軸の都心骨格構造の完成とこれを活用した新たな整備プロジェクトの展開など

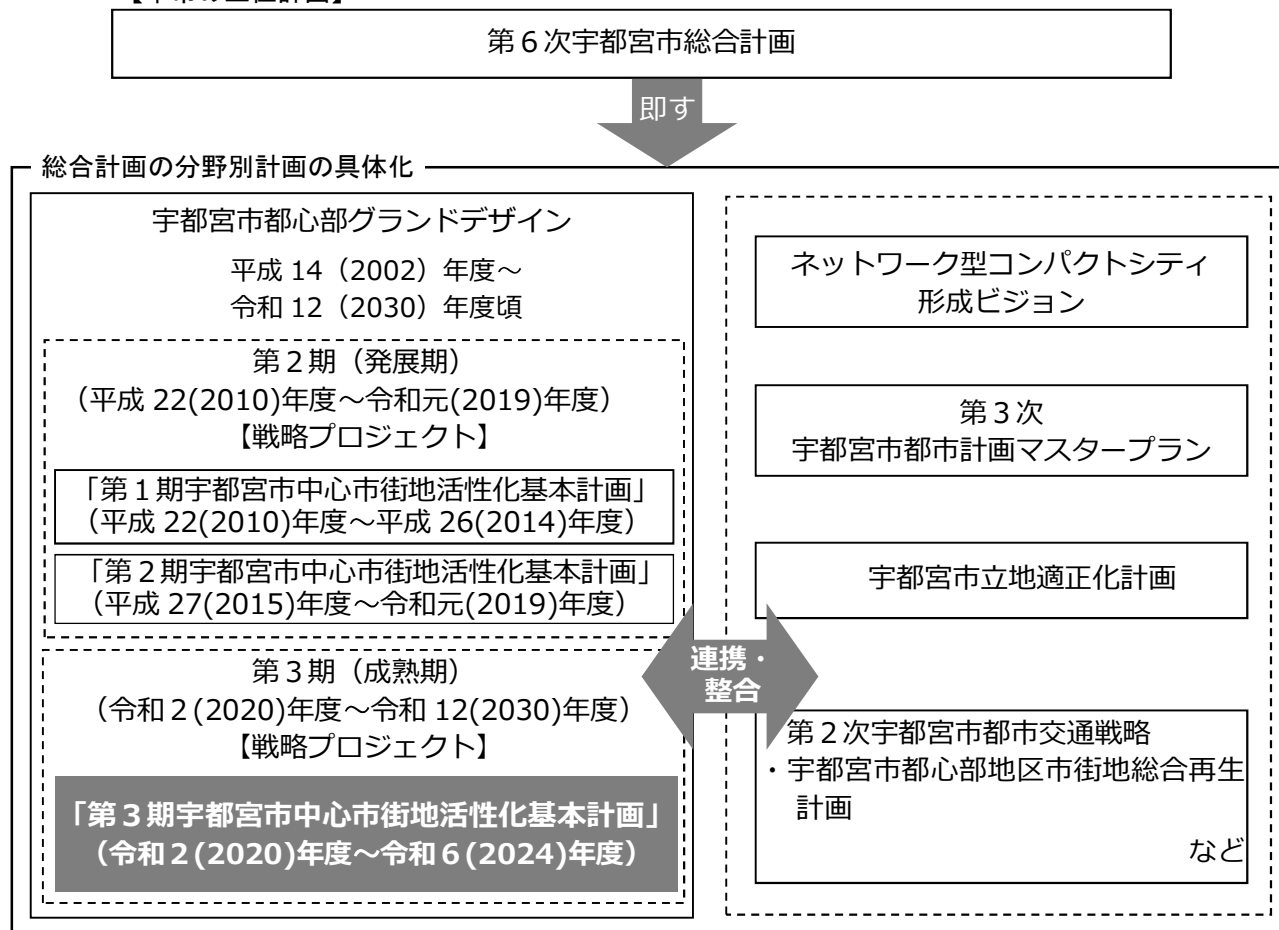
(3) 計画の位置づけ

本計画は、本市の中心市街地活性化を図るための基本的な方針であり、各種施策・事業を総合的・一体的に推進するための計画です。

また、「第6次宇都宮市総合計画」の分野別計画である、全国から選ばれる「交通未来都市うつのみや」の実現に向けて、基本施策「暮らしやすく魅力のある都市空間を形成する」を実現するための計画であるとともに、中心市街地のまちづくりの長期ビジョンである「都心部グランドデザイン」で目指すまちづくりを実現するための計画です。

本計画に掲げた取組を着実に推進し、より一層の活力と魅力ある中心市街地の形成を図ることで、SDGsのゴール「8 働きがいも経済成長も」や「11 住み続けられるまちづくりを」等の達成に貢献し、持続可能なまちを目指します。

【本市の上位計画】



■宇都宮市中心市街地活性化基本計画の位置づけ

【参考】本計画と関係が深いSDGsのゴール



目標8 働きがいも経済成長も

包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する



目標11 住み続けられるまちづくりを

包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する

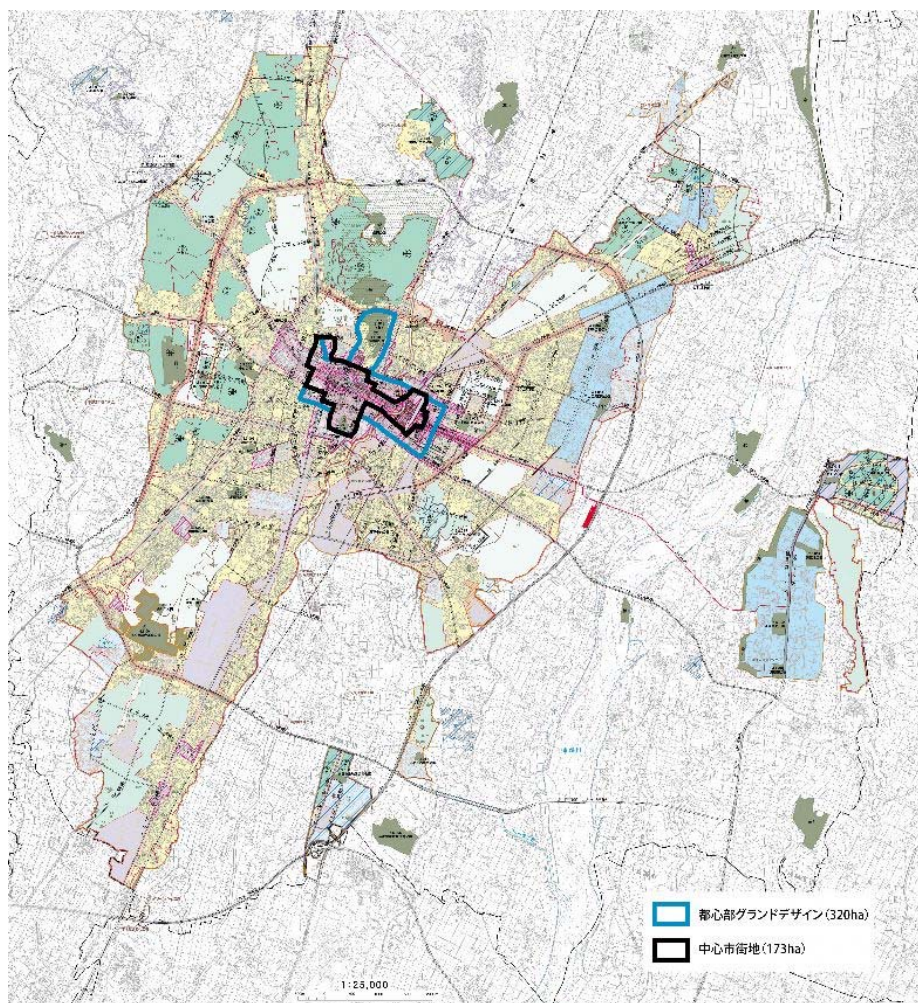
2. 計画区域

(1) 区域設定の考え方

これまで、中心市街地の区域については、本市の歴史的な成り立ちや都市機能の集積状況などを踏まえ、「宇都宮二荒山神社と宇都宮城址公園、東武宇都宮駅を包含する地域」と、「広域圏での交通要衝拠点となるJR宇都宮駅周辺を核とする地域」の2つの地域を結ぶ軸とその周辺地域を設定してきたところです。

第3期計画における区域設定にあたっては、本市のまちづくりの観点から、大谷石を活用した賑わいスポットを創出し、中心市街地の活性化等につなげる「街なか大谷石活用事業」を上位計画である「第6次宇都宮市総合計画」に位置付けていることや、関連計画である「第2次宇都宮市観光振興プラン」の「リーディングプロジェクト」として『『餃子の魅力』フル活用プロジェクト』を位置付けていることを踏まえ、日本遺産に認定された「大谷石文化」や地域ブランドである「餃子」を最大限に活用した魅力づくりや回遊性の向上を図るため、以下の区域を追加します。

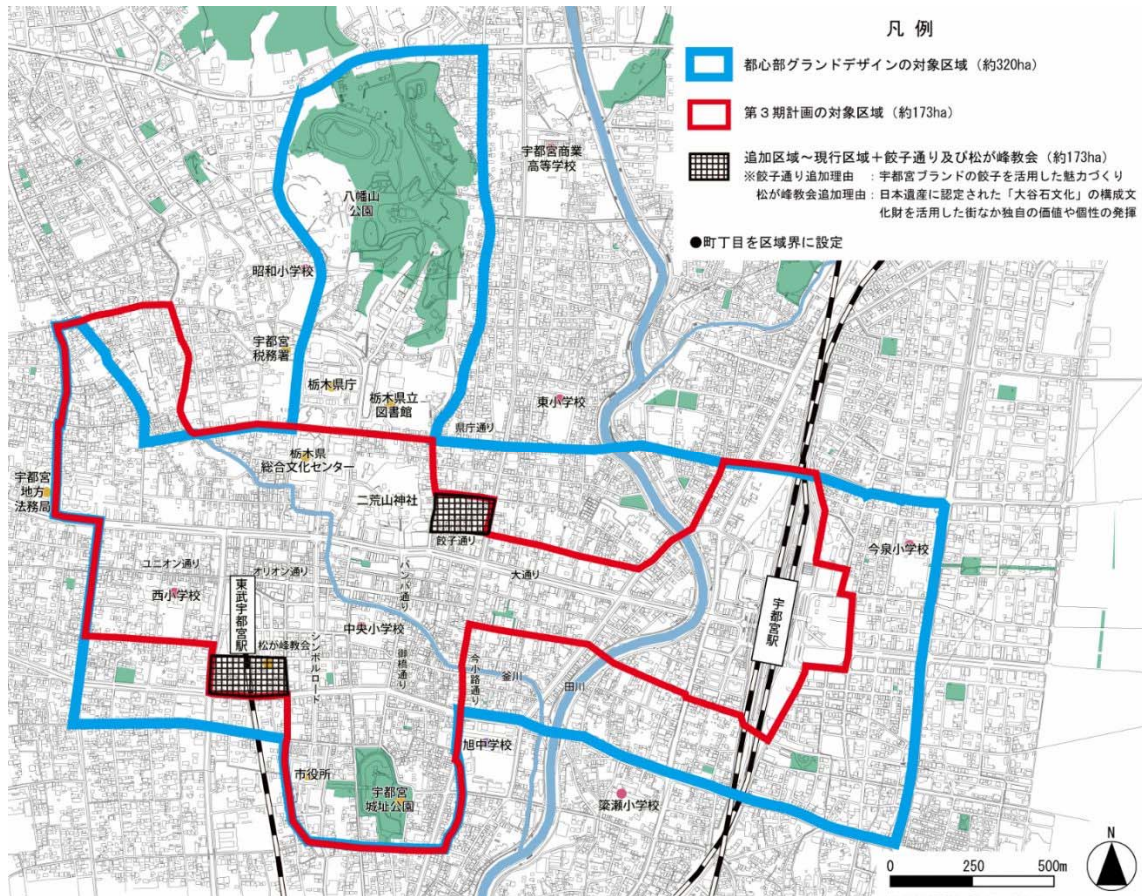
「大谷石文化」の構成文化財である「松が峰教会」を含むエリアを追加
新たに整備された「餃子通り」を含むエリアを追加



■ 中心市街地の位置図

(2) 区域の面積

約173ha



■ 中心市街地の区域

(3) 計画区域の境界

区域の境界については、第2期計画と同様に町丁目境を基本とし、道路や河川といった構造物で区切ることとします。

① オリオン通りを中心とする事業実施区域（センターコア内）：

泉町，本町，塙田二丁目，馬場通り一丁目，馬場通り二丁目，馬場通り三丁目，馬場通り四丁目，伝馬町，池上町，江野町，曲師町，二荒町，西一丁目，宮園町，中央一丁目，中央本町，中央五丁目，宮町，松が峰1丁目

② JR宇都宮駅東口及び西口における事業実施区域（JRコア内）：

今泉一丁目，駅前通り一丁目，駅前通り二丁目，駅前通り三丁目，宮みらい，川向町の一部

③ 市役所・宇都宮城址公園：

旭一丁目，本丸町，中央二丁目，中央三丁目

④ 小幡清住地区土地区画整理事業区域：

清住一丁目，清住二丁目，小幡一丁目

⑤ JRコアとセンターコアをつなぐ軸（大通り，コミュニティバス路線）：

大通り一丁目，大通り二丁目，大通り三丁目，大通り四丁目，一番町

第2章

中心市街地を取り巻く環境

第2章 中心市街地を取り巻く環境

1. 時代潮流

(1) SDGsへの貢献に向けた取組の推進

持続可能な開発目標（SDGs）とは、平成27（2015）年9月の国連サミットにおいて全会一致で採択された、先進国を含む国際社会全体の開発目標です。「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現を目指し、2030年を期限とする17の目標を設定し、経済・社会・環境をめぐる広範な課題に統合的に取り組むものです。

持続可能な開発目標（SDGs）は、経済・社会・環境の三側面における持続可能な開発を統合的取組として推進するもので、我が国においても、持続可能な経済社会づくりを行う自治体を「SDGs未来都市」として選定しており、本市も、令和元（2019）年7月に国より「SDGs未来都市」に選定され、SDGs未来都市計画を策定しました。今後、SDGsへの貢献に向けて総合的かつ効果的な取組を推進していきます。

【SDGsへの貢献に向けた課題】

- ◎ SDGsに対する宇都宮市全体での理解促進と市民・事業者とのパートナーシップの基盤の強化
- ◎ 「ヒトの“うごき”」の活性化に資する取組の推進

これらの課題を踏まえ、以下のような取組を実施することで、SDGsの達成を目指すことを「SDGs未来都市計画」で掲げていることから、中心市街地活性化基本計画においても、「SDGs未来都市計画」との整合性を踏まえ、取組を実施していきます。



■SDGs未来都市計画における KPI

(2) スマートシティの推進

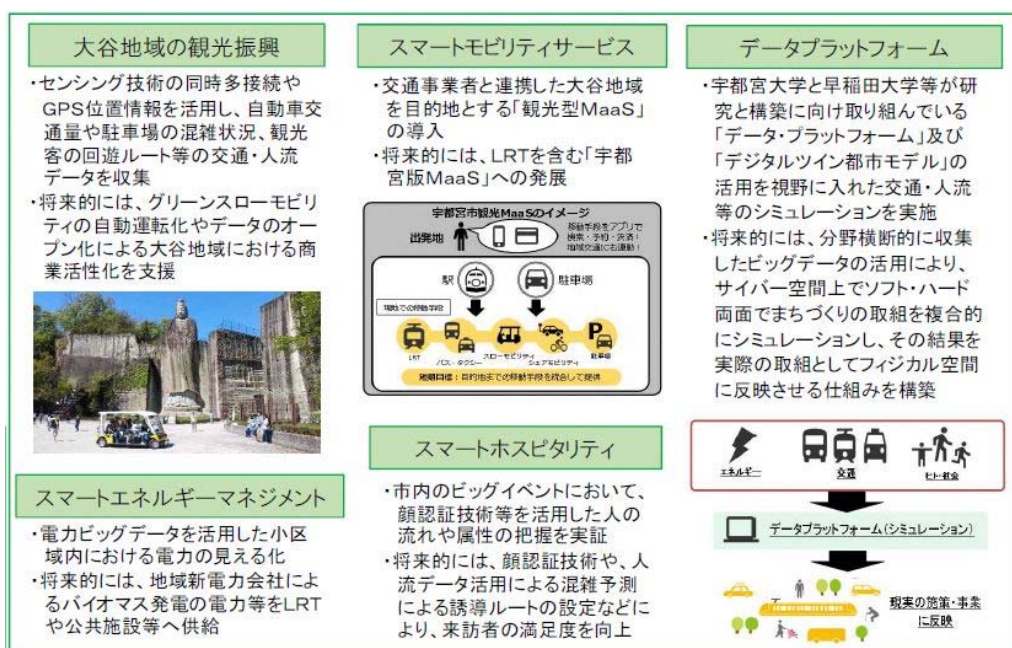
現在、国においては、「Society 5.0」(超スマート社会)の実現を目指し、先進的技術をまちづくりに活かし、市民生活・都市活動や都市インフラの管理・活用を飛躍的に高度化・効率化することで、都市・地域が抱える課題解決につなげるスマートシティの実現に向けた取組を推進しています。

そのような中、令和元(2019)年度、国土交通省が行った新技術や官民データを活用しつつ都市・地域課題を解決する「スマートシティモデル事業」の公募において、本市を含む「Uスマート推進協議会」の提案が全国のけん引役となる先駆的な取組(「先行モデルプロジェクト」)として選定され、産官学が連携した最先端技術の実証実験などに取り組んでいます。

現在、以下の4つのテーマに沿ったモデル事業を推進しています。

【モデル事業の概要】

- ・ルネッサンス大谷の実現(観光型MaaSの検討等)
- ・スマート・モビリティサービスの実現(自動運転の社会実験等)
- ・スマート・ホスピタリティの実現(顔認証キャッシュレス決済の社会実験等)
- ・スマート・エネルギーマネジメントの実現(EVなどを活用した災害対応力の強化等)



■スマートシティモデル事業の内容

上記のテーマのうち、特に、「スマート・ホスピタリティの実現」については、本市の中心市街地をフィールドに、顔認証技術等の活用による人の流れや属性の把握のほか、人流データを活用した混雑予測による誘導ルートの設定などを行うものであり、中心市街地の活性化に当たっては、積極的に連携していく必要があります。

(3) 「居心地が良く歩きたくなるまちなか」からはじまる都市の再生

国土交通省では、コンパクト・プラス・ネットワークや都市再生緊急整備地域制度などのこれまでの都市再生の取組を更に進化させ、特に、我が国各都市におけるイノベーションの創出や人間中心の豊かな生活の実現につながる都市再生政策の方向性を検討し、令和元（2019）年6月「都市の多様性とイノベーションの創出に関する懇談会」において、今後のまちづくりの方向性について以下の提言を行っています。

○コンパクト・プラス・ネットワーク等の都市再生の取組をさらに進化させ、官民のパブリック空間（街路、公園、広場、民間空地等）をウォーカブルな人中心の空間へ転換・先導し、民間投資と共鳴しながら「居心地が良く歩きたくなるまちなか」の形成が必要である。

○これにより、多様な人々の出会い・交流を通じたイノベーションの創出や人間中心の豊かな生活を実現し、まちの魅力・磁力・国際競争力の向上が内外の多様な人材、関係人口を更に惹きつける好循環が確立された都市の構築を図るべきである。

国土交通省は、この提言に共鳴し、共に取組を進める政策実施のパートナーとなる地方公共団体を「ウォーカブル推進都市」として募集し、本市も賛同しています。

本市の中心市街地活性化に向けた取組においては、「ウォーカブルな人中心の空間」づくりを進めていきます。



■ウォーカブルシティの考え方とイメージ

2. 中心市街地の現状

(1) 中心市街地における地域資源の状況

① 自然的資源

中心市街地には、北部の八幡山公園、南部の宇都宮城址公園などにまとまった緑が分布しています。その中でも、八幡山公園は、桜やツツジの名所であるとともに、市内を一望できる宇都宮タワーや大型遊具などがあり、市民の憩いの場として広く利用されています。

また、中心部には田川、釜川が貫流しており、まちに潤いを与え、市民の憩いの場となっています。特に釜川にはプロムナード（遊歩道）が整備され、近年、名所となっている枝垂れ桜を鑑賞できる「川床」の設置、イルミネーションによる光の演出など、河川の持つ緩やかで潤いのある空間性に着目した、新たな憩いの空間づくりが行われています。

このほか、天然記念物に指定されている祥雲寺のしだれざくら、旭町の大いちょう、八幡山のクスノキ、延命院のカシ、赤門のさくら（慈光寺のヒガンザクラ）をはじめとした名木が点在しています。



■八幡山公園の桜



■かまがわ川床桜まつり

② 歴史的資源及びまちなみ資源

中心市街地を見下ろし、千年の歴史を持つ宇都宮二荒山神社は、多くの祭礼が行われ、暮らしの節目ごとに市民が参拝するなど、古くから市民の心の拠り所となってきました。この門前であるバンバを中心に門前町がおこり、江戸時代には宇都宮城の城下町として、日光東照宮の社参などの人々の往来により、まちは繁盛していました。また、昭和中頃までは、この表参道に「バンバの仲見世」が立ち並び、宇都宮の中心地として市民に親しまれてきました。

中心市街地の歴史や文化は、戦災などにより失われたものもありますが、宇都宮二荒山神社をはじめ、大谷石造の教会としては日本最大級であるカトリック松が峰教会、土塁や櫓（やぐら）などが復元された宇都宮城址公園は、時代を超えて今も市民に親しまれています。



■宇都宮二荒山神社

中心市街地には、駅西側に季節を感じられる田川の遊歩道や釜川プロムナード、トチノキ並木や、商業などの賑わいが感じられる街並みや建造物群が分布しており、日光街道と奥州街道が分かれる要所（追分）として、繁栄を続けた名残を感じられる清住通りの古い街並みもあります。

この他にも、JR宇都宮駅前には醤油や肥料を販売する豪商であった旧篠原家住宅があり、母屋と大谷石蔵は、国の重要文化財に指定されています。また、日本遺産の構成文化財となっており、現在は内部の公開と併せてイベント等が行われています。



■旧篠原家住宅

③ 産業資源（観光・伝統工芸・地場産品等）

近年、全国区の知名度を誇る「宇都宮餃子」、全国でもトップクラスのバーテンダーによる「おもてなし」が味わえる「宇都宮カクテル」や「ジャズ」の演奏を楽しむことができるほか、世界レベルのレースが開催される自転車、伝統工芸「宮染め」や味噌醸造・酒造などの老舗のモノづくりの現場が存在するなど、多彩な資源があります。

■主な地域資源

	資源名	ポイント
観光資源	餃子	<ul style="list-style-type: none"> 餃子が市のイメージを形成するほどの観光資源となっており、総務省の家計調査では、1世帯当たりの年間購入額が平成21(2010)年まで15年連続日本一、平成25(2013)年、平成29(2017)年と令和元(2019)年に1位を獲得。 市内には約30店舗の餃子専門店があり、平成5(1993)年に宇都宮餃子会が発足、現在は80店舗が加盟しています。 平成28(2016)年には、「2016 全国餃子サミット&全国餃子祭り in うつのみや」が開催。毎年、宇都宮城址公園を会場に「宇都宮餃子祭り」が開催され、全国から餃子ファンが訪れています。
	カクテル	<ul style="list-style-type: none"> カクテル技能競技の全国大会で、数多くの優勝者を輩出し、バーテンダーの業界では、その人数とレベルは銀座と比肩するほどといわれ、平成11(1999)年に「宇都宮カクテル倶楽部」が発足しました。 「宇都宮カクテルカーニバル」や「宇都宮カクテルナイト」などのイベント開催、学会などへの出展や他団体との事業協力などを通じPRに努めています。
	ジャズ	<ul style="list-style-type: none"> 世界で活躍する渡辺貞夫氏や高内春彦氏などの著名なジャズプレーヤーを輩出した街であり、ライブハウスなどを中心に、平成14(2002)年に「宇都宮ジャズ協会」が組織され、ジャズによるまちづくりが進められています。 毎日加盟店のどこかの店ではジャズライブが開催されているほか、駅構内やオリオンスクエア等の街なかでも数多くのライブイベントが開催されています。
	自転車	<ul style="list-style-type: none"> 平成22(2010)年からジャパンカップサイクルロードレースの前日に、宇都宮の目抜き通りである大通りを舞台にクリテリウムレースが開催され、世界中の自転車ファンの注目を集めるとともに、自転車走行空間の整備やレンタサイクルの導入、「自転車の駅」の整備、「自転車マップ」の配布など自転車利用環境の向上にも取り組むなど、「自転車のまち宇都宮」を推進しています。 JR宇都宮駅に設置されている「宮サイクルステーション」では、ロードバイクのレンタル、ロッカーやシャワーなども利用できます。
	大谷石	<ul style="list-style-type: none"> 大谷石は加工しやすい特性から、江戸時代には宇都宮城の修築に使われ、明治時代になると大谷石の採掘産業が発展し、現在でも市内には大谷石造りの建造物が多く残り、宇都宮のまちを特色づけています。 また近年、「大谷資料館」が観光スポットとして人気を集めるとともに、「大谷石文化」をテーマとしたストーリーが、平成30年5月に日本遺産として認定を受けました。

	資源名	ポイント
伝統工芸品	宮染め	<ul style="list-style-type: none"> 宮染めは、江戸時代に田川や釜川沿いに染色職人が移り住んだことが始まりといわれ、現在は市内で染物工場はわずか3件ほどとなっています。 近年では、地域資源をモチーフとした手ぬぐいや宮染めシャツの開発が行われるなど、まちづくりと連携した新たな試みが行われています。
	ふくべ細工	<ul style="list-style-type: none"> 特産品であるかんぴょうの表皮で創った魔よけのお面「ふくべ細工」は大正初期から始まったと言われ、大通りに立地する「ふくべ洞」では、ふくべの絵付けを体験することができます。
	黄鮒	<ul style="list-style-type: none"> 江戸時代に疫病が流行った際に、川で釣った黄色い鮒を食したところ、病気が治ったという伝説に由来し、縁起物の郷土玩具として製作されています。 中心市街地を循環するバス「きぶな号」の名称の由来となっているなど、多くの市民に親しまれています。
老舗	青源味噌：味噌（三番町）	<ul style="list-style-type: none"> 青源味噌は寛永2(1625)年創業の味噌屋。味噌文化の創造・継承を目的に「手造り味噌教室」を開催するなど、体験交流活動も行っています。
	虎屋本店：酒造（本町）	<ul style="list-style-type: none"> 天明8(1788)年創業の酒蔵。当時宇都宮の七つの名水の一つの井戸（虹の井戸）を使い酒造りを開始。 大通りと釜川に挟まれた街なかに本店があり、本店の大谷石蔵では、「本町石蔵音楽会」や渡辺貞夫のジャズライブが開催されることもあります。
	池田屋：銘菓「宮の餅」（大通り）	<ul style="list-style-type: none"> 明治4(1871)年創業の和菓子店。明治42年(1909)に明治天皇に献上された「宮の餅」は、宇都宮市を代表する銘菓となっています。
	高林堂本店：かりまん	<ul style="list-style-type: none"> 明治18(1885)年創業の和菓子店で大通りの再開発ビルに店舗を構え、かりまんは、おみやげとして人気となっています。
	うさぎや：チャット	<ul style="list-style-type: none"> 大正4(1915)年創業の和菓子店。昭和36(1961)年に誕生した「チャット」は、洋菓子のような和菓子で人気となっている。

④ 祭り、イベント等のソフト資源

中心市街地の拠点広場（オリオンスクエア、バンバひろば）では、平成20（2008）年に年間160回のイベントが開催され、平成30（2018）年には年間378回と、倍増となっています。

また、中心市街地では二荒山神社などでの伝統的な祭祀から、50～60万人もの集客がある「ふるさと宮まつり」など、1年を通して多彩なイベントが行われています。

春には宇都宮城址公園や八幡山でのお花見に加え、釜川の枝垂れ桜を楽しむために期間限定で川床を設置して夕方にはぼんぼりを点灯する「かまがわ川床桜まつり」が行われ、夏には、オリオン通りでの七夕、東武宇都宮百貨店前の交差点にやぐらを組んで、盆踊りのイベントも行われています。秋は毎週のように様々なイベントが開催され、「宇都宮餃子祭り」では、毎年15万人近くの観光客が訪れるほか、ジャズやカクテルなどの観光資源を活用したイベントが開催され、市内外へ街なかの魅力をアピールする機会となっています。

また近年、国際的スポーツイベントの開催も恒例となりつつあり、大通りでのジャパンカップクリテリウムは令和元（2019）年で10回目、バンバ広場でのFIBA 3x3ワールドツアーも4回目を数え、特に令和元（2019）年のFIBA 3x3ワールドツアーは世界一決定戦のファイナルを餃子まつりやミヤ・ジャズイン等と同日に開催し、街なかは多くの人で賑わいました。

さらに、若者の交流機会を生むため多くの飲食店を活用して行われる「宮コン」や様々な店舗がバンバひろばに一堂に会する「Hanakin Land」「やさしい日曜日」など、民間事業者が主体となって、多種多様なイベントが開催されていることも特色の一つといえます。

■拠点広場でのイベント開催状況

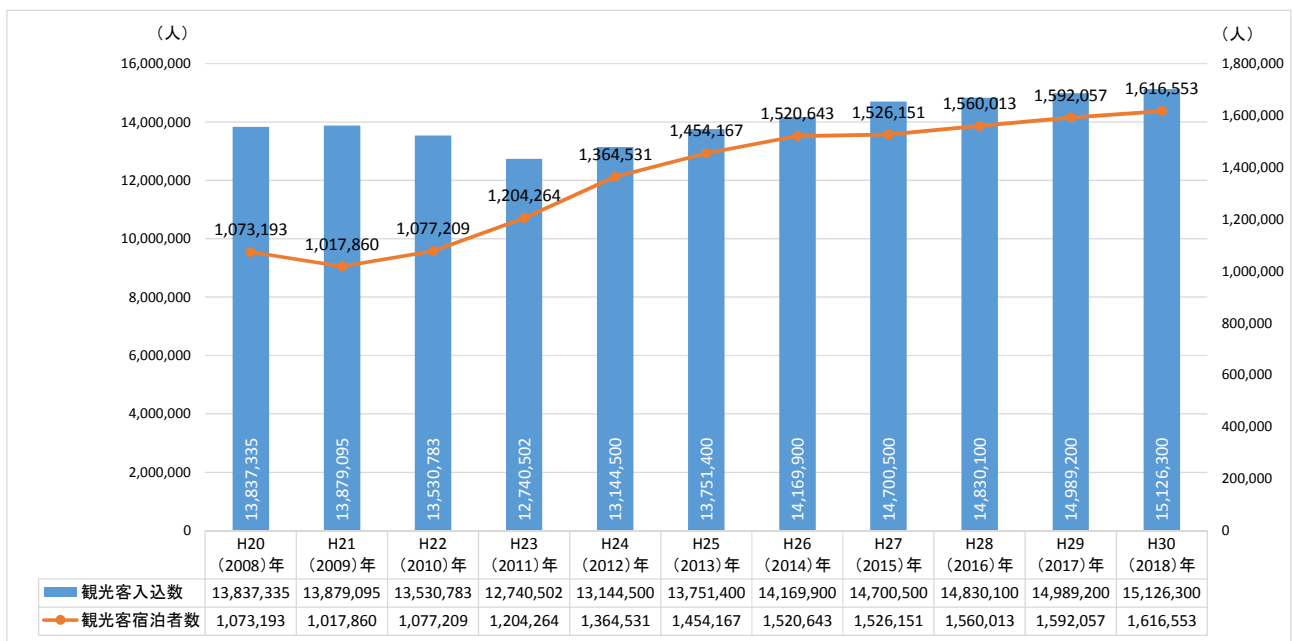
	オリオンスクエア		バンバひろば	
	イベント回数	イベント参加人数	イベント回数	イベント参加人数
平成 20 (2008) 年度	123	151,142 人	37	170,320 人
平成 21 (2009) 年度	180	141,470 人	70	194,400 人
平成 22 (2010) 年度	209	138,420 人	112	161,874 人
平成 23 (2011) 年度	177	169,990 人	64	161,385 人
平成 24 (2012) 年度	237	163,041 人	83	117,800 人
平成 25 (2013) 年度	244	106,560 人	85	116,100 人
平成 26 (2014) 年度	286	179,120 人	77	103,188 人
平成 27 (2015) 年度	307	309,310 人	85	103,796 人
平成 28 (2016) 年度	242	255,720 人	81	145,261 人
平成 29 (2017) 年度	254	256,520 人	79	185,919 人
平成 30 (2018) 年度	260	273,900 人	118	203,298 人

●オリオンスクエア…平成 18(2006)年度から供用を開始し、平成 23(2011)年度に大型映像装置を設置。

●バンバひろば…平成 19(2007)年度から東側広場、平成 23(2011)年度には西側広場の供用を開始。

※平成 25 (2013) 年度は台風や大雪等の天候の影響により前年度より集客数が減少

市全体の観光客入込数は、平成 26 (2014) 年に 1,400 万人を越え、その後も増加で推移しており、観光客宿泊者数も、観光客入込数の増加に伴い平成 23 (2011) 年から増加傾向で、平成 30 (2018) 年は約 161 万人となっています。



■市全体の観光入込数・観光客宿泊者数

出典：宇都宮市観光動態調査（平成 30 年）

■ 中心市街地で行われる主な祭り・イベント

	名 称	開催場所／ 開催時期	概 要
祭り・ 伝統芸能	宇都宮鳶木遣り ※無形文化財・はしご乗り	バンバひろば、大通り／1月、8月	木遣りは、徳川家光が日光東照宮の造営にあたり、全国各地から集めた名工・技工を、冬季中宇都宮などに宿泊させた折、彼等の中で盛んに唱われたものが次第に宇都宮独特の形に固定して今日に至ったものと伝えられています。
	春渡祭（おたりや） ※とちぎのまつり100選	二荒山神社／1月	宇都宮市民に一年の終わりと正月の終わりを告げる二荒山神社の夜祭です。1月と12月の年2回行われ、1月を「春渡祭」と書きます。 二荒山神社の社殿東側の焚き上げ所では、「お焚きあげ」が行われ、正月飾りを焚き上げます。
	宇都宮二荒山神社太々神楽 ※市無形文化財	二荒山神社／1月、5月、9月	江戸時代中頃から続いている上演奉納神楽です。江戸系統に属する神田流（浅草の若山に始まる）の流れをくみ、神社では宮比流（みやびりゅう）太々神楽と称しています。
	宇都宮二荒山神社節分祭	二荒山神社／2月	立春の前日に除災招福を願う祭りで、その年の福を求める人々で境内が賑わいます。
	田舞祭 ※堀米の田楽舞・市無形文化財	二荒山神社／5月	豊作を祈る農耕儀礼として平安時代に始まり、鎌倉・室町時代に見せるための芸能に変わり、今では神社の祭礼行事等に組み込まれている、堀米の田楽舞が毎年奉納されている神事です。
	大祓式（おおはらいしき） 茅の輪くぐり（ちのわくぐり）	二荒山神社／6月、12月	人々の罪と穢れを祓い清めるために行われる行事で、起源は古く大宝律令制度（701）以来といわれています。6月の大祓の時に「茅の輪くぐり」という珍しい神事が行われます。
	宮壹祭（みやいちさい）	二荒山神社、オリオン通り／7月	梅雨空を吹き飛ばそうと市内のみこし愛好会により行われ、オリオン通りを神輿が練り歩きます。主催である市内の「宮壹會」（みやいちかい）をはじめとして県内外から愛好家約400人が集まります。
	天王祭	二荒山神社／7月	宇都宮二荒山神社境内にある須賀神社の7月の例祭で、町内からの子供神輿が市内を練り歩いた後、二荒山神社下之宮に安置された親神輿に対面。元気の良い掛け声とともに、神社の階段を駆け上がります。
	菊水祭 ※とちぎのまつり100選	二荒山神社／10月	宇都宮二荒山神社の大祭である「秋山祭」の付祭りで、1673年（寛文13）から続いているといわれています。祭りは2日間にわたり、神社を中心として東を下町、西を上町に分け、二荒山神社の祭神である豊城入彦命が鳳輦（ほうれん）に乗り両町を一日ずつ渡御します。
	冬渡祭（おたりや） ※とちぎのまつり100選	二荒山神社／12月	宇都宮市民に一年の終わりと正月の終わりを告げる二荒山神社の夜祭です。1月と12月の年2回行われ、12月は「冬渡祭」と書きます。 二荒山神社の社殿東側の焚き上げ所では、「お焚きあげ」が行われ、古いお札やダルマなどの縁起物を焼く、1年の終わりを感ぜさせる祭となっています。
催事・ イベント等	初市	上河原通り（宇都宮市大通り1丁目ほか）／1月	身を切るような男体おろしが吹く1月11日、上河原通りに露店がズラリと立ち並びます。ダルマ、豆太鼓、黄鮒などの縁起物を買求める人々の熱気で体も温まる宇都宮の新年の風物詩です。
	うつのみや大道芸フェスティバル	オリオンスクエア、オリオン通り内各所／3月	平成20(2008)年に地元の大道芸人たちが企画し、初めて実現しました。オリオン通りの各所を舞台に「うつのみやが『笑い』につつまれる」をテーマとして、バルーンアート、パントマイム、ジャグリングなど自慢の芸が披露されます。

	名 称	開催場所／ 開催時期	概 要
催 事 ・ イ ベ ン ト 等	宇都宮城桜まつり	宇都宮城址公園／3月下旬	桜の開花のたよりを心待ちにする時期に、宇都宮で一番初めに桜が見頃を迎える宇都宮城址公園で、春の到来を祝うイベントです。宇都宮城址公園では、早咲きの河津桜から大山桜まで、長期間桜を楽しむことができます。
	かまがわ川床桜まつり	釜川（曲師町）／4月上旬～中旬	中心市街地を流れる釜川ほとりで開催される桜まつりです。特に宇都宮城主しか通ることが許されなかった「御橋」から「出雲橋」までの区間では、枝垂れ桜が咲き誇り、隠れた名所となっています。 期間中は釜川に川床を設置し、自由に休憩できるようになっており、川面から満開の桜を見ることができます。夕方にはぼんぼりも点灯されます。
	八幡山のお花見	八幡山公園／4月上旬～中旬	約11.8万平方メートルの園内に植えられた約800本のソメイヨシノが一斉に咲き乱れ、毎年大勢の花見客で賑わいます。夜桜がぼんぼりに照らされます。
	フェスタ my 宇都宮	城址公園，オリオンスクエア，オリオン通りなど／5月	郷土愛とコミュニティ意識を醸成することを目的とした市民が自由な発想で自由に参加するイベントです。 多くの市民団体等が参加し、屋台の出店、ステージイベント、ストリートパフォーマンス等が実施されます。
	ミヤ・ストリートギグ	オリオンスクエア等約10箇所／5月～6月	平成13(2001)年スタートの宇都宮市民芸術祭軽音楽祭の一環である北関東最大級のアマチュア音楽フェスティバルです。ミヤ・ストリートギグの名の通り、街なかの路上や公開空地を利用して行う音楽イベントです。 中心市街地のストリートで、数多くの団体、アーティストによる演奏や、ストリートダンスなどのパフォーマンスが繰り広げられます。
	宇都宮カクテルカーニバル	オリオンスクエア／5月	平成20(2008)年から宇都宮カクテル倶楽部主催で開催する、カクテルをより身近に、手軽に楽しんでもらおうと昼間に開催されるイベントです。加盟店が出店し、ノンアルコールカクテルを含む約45種類のカクテルと、カクテルに合う軽食が提供されます。
	FIBA 3x3 ワールドツアー	バンバひろば／7月	国際バスケットボール連盟(FIBA)が主催する、3人制バスケットボールの世界大会です。 令和元(2019)年には、世界11都市で行われる「マスターズ」を勝ち上がった12チームによりクラブ世界一を決定する「FIBA 3x3 ワールドツアー-うつのみやファイナル2019」が11月に開催されました。
	オリオン七夕まつり	オリオン通り／8月	オリオン通りで七夕飾りが施されるお祭りです。地元幼稚園や学校等が30点以上を掲出し、色とりどりの七夕飾りが商店街を華やかに彩ります。 商店街やマスコミ関係者らによる審査も実施され、最高賞のオリオン賞には賞金が進呈されます。
	ふるさと宮まつり ※とちぎのまつり 100選	大通り／8月	昭和51(1976)年からスタートし、市民の交流の場をつくり、「心」のふれあいを求め、市民意識の高揚を図るために、宇都宮青年会議所創立10周年の記念、宇都宮市制80周年の年に開催された市民参加型のお祭りです。 8月の第1土・日に開催され、神輿の参加数は2日間で延べ約90基となり、北関東最大級(来場者数は2日間で50万人以上)栃木県最大のお祭りです。
	みやの盆踊り	東武宇都宮百貨店前交差点／8月	宇都宮中心商店街みやヒルズ活性化委員会(みやヒルズ)が主催し、平成24(2012)年から開催されています。東武百貨店前交差点の周辺道路を交通規制し、東武百貨店前におはやし用のやぐらが組まれます。多くの市民が踊りの輪に入ったり、観覧しながら飲食を楽しんだり街なかの夏の夜の風物詩となりつつあります。

	名 称	開催場所／開催時期	概 要
催事・イベント等	宇都宮カクテルナイト	オリオンスクエア／9～10月	平成 21(2009)年に、カクテルをより手軽に楽しんでもらおうと宇都宮カクテル倶楽部発足 10 周年記念に開催されたカクテルイベントです。加盟店が出店し、ノンアルコールカクテルを含むカクテルと、カクテルに合う軽食を販売します。
	もったいないフェア	城址公園／9月	「もったいない運動」をさらに多くの人に知っていただくため、「宇都宮市もったいない運動市民会議」が主体となって開催するイベントです。
	食育フェア	城址公園／10月	食育の重要性の理解を深め、実践していただくために、家庭、学校、地域、企業などの団体にご協力をいただき開催しています。
	ジャパンカップクリテリウム	大通り／10月	平成 22(2010)年より開設された、ジャパンカップサイクルロードレース開催の前日に開催される自転車レースで、大通りに設定された短い距離の周回コースを走ります。最高時速 70km を超えるとも言われる選手達のハイスピードバトルが間近で体感できます。
	宇都宮城址まつり	城址公園／10月	中心市街地を練り歩く「社参行列」などが行われ、宇都宮城一千年の歴史を伝えるとともに、市民の郷土への愛着や誇りを醸成するお祭りです。
	宇都宮餃子祭り	城址公園／11月	平成 11(1999)年から始まったイベントで、「宇都宮餃子会」会員店が出店し、各店自慢の餃子を一皿 100 円で提供します。市民はもとより、県外から多くの人たちで賑わいます。
	ミヤ・ジャズイン	オリオンスクエア等 4 箇所／11月	「いつでも、どこでもジャズを感じる街」を目指し、宇都宮とジャズを愛する人々の思いで成長してきたジャズフェスティバル。全国から選ばれたアマチュアバンドが最高のパフォーマンスを繰り広げます。
	宮の市	バンバ通り／11月	平成 8(1996)年にスタートした、市内の商業活性化を目的とする商業祭です。 期間中は、商店街の各店舗による感謝セールのほか、11 月第 1 土曜日曜には、バンバ通りに地元企業や団体が飲食出店や PR 出店するストリートフェスティバルが実施されます。
	宮コン	中心商店街の飲食店約 40 店舗／月 2 回程度	出会いと街の活性化を目的とした街コンイベントです。宮コンは、日本中で開催されている「街コン」の発祥となっています。
	028 商店街	ユニオン通り／年 2～3 回	ユニオン通り商店街で、通りを活用して年 2 回程度開催され、1 万人以上が来場するフリマイベントです。 ユニオン通りに店を構える服飾店や飲食店舗だけでなく、県内の話題の飲食店など他地域からも店舗が集まり、お洒落な若者や子育て世代を中心に賑わいます。
	Hanakin Land ※平成 30 年よりサードディナイトフィナーから名称及び曜日変更	バンバひろば／毎月第 1・2 金曜日（冬季は休み）	バンバひろばで開催されるイベントです。 毎月第 1・2 金曜日の夜に、個性的な市内外の飲食店や雑貨店などが出店します。
	宇都宮ジャズクルージング	宇都宮ジャズ協会加盟店舗約 15 店舗／年 3 回	平成 17(2005)年から毎年開催されるジャズライブイベントで、宇都宮ジャズ協会加盟店舗約 15 店のジャズライブハウスで、夜に 2 回から 3 回のジャズライブが同日に開催されます。
	うつのみやイルミネーション	中心市街地	オリオン通りやバンバ通りなどの中心市街地がイルミネーションで華やかに彩られます。オリオンスクエアではボジョレー・ヌーボーの解禁に合わせた点灯式が開催されます。

(2) 中心市街地における本市の主な取組

① LRTやJR宇都宮駅東口地区整備の推進

平成22(2010)年4月に策定された「第2次宇都宮市都市計画マスタープラン」において、JR宇都宮駅東西方向に基幹公共交通として、新たな公共交通軸(LRT等)の形成を図ることが位置付けられ、平成25(2013)年3月に「総合的な公共交通ネットワーク」の基軸となる東西基幹公共交通の実現に向け、「東西基幹公共交通の実現に向けた基本方針」が策定されました。

これらに基づき、平成30(2018)年6月より、JR宇都宮駅東側においてLRT整備に関する工事が開始され、LRTの開業にあわせて、令和4(2022)年8月頃にJR宇都宮駅東口地区のまちびらきが予定されています。また今後、LRTについては、宇都宮駅東口から宇都宮駅西口側へと延伸することが検討されており、それに合わせた道路空間と交通体系の再編も併せて検討されています。

② 餃子を活用したまちなかの魅力づくり

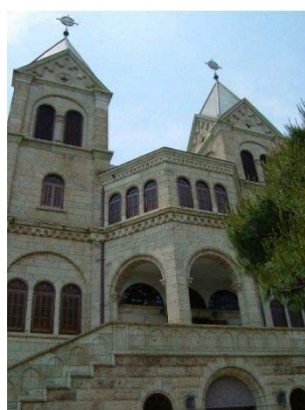
平成30(2018)年4月～6月末までのJR東日本の「デスティネーションキャンペーン(DC)」の開催を機に、平成30(2018)年4月には、餃子店が多く立ち並ぶ宮島町通りを「餃子通り」と命名し、餃子をテーマとした路面やマンホールの装飾などを施しました。こうした取組により観光スポットとしての磨き上げを行い、誘客の促進を図っています。

③ 大谷石文化を活用したまちづくり

本市は、「宇都宮市歴史文化基本構想」（平成30（2018）年1月）の策定を契機に、「大谷石文化」をテーマとしたストーリーにより、日本遺産認定申請[※]を行い、同年5月に県内で初となる地域型の日本遺産認定を受けました。

大谷石文化のストーリーは、大谷石の産地である大谷地区と、その石を建造物等に使い、まちの景観を作り上げてきた宇都宮市中心部やその周辺が舞台となっており、カトリック松が峰教会、旧篠原家住宅、上野本家住宅、二荒山神社の石垣、青源味噌店、ダイニング蔵おしゃらくの6か所が中心市街地に立地しています。

※本文化遺産は、歴史的経緯や地域の風土に根ざし、世代を超えて受け継がれている伝統や風習などを踏まえた「ストーリー」を、日本の文化・伝統を語る「ストーリー」として文化庁が認定する制度である。「ストーリー」を語る上で欠かせない魅力溢れる有形や無形の様々な文化財群を、総合的に整備・活用し、国内だけでなく海外へも戦略的に発信していくことにより、観光振興など地域の活性化を図ることを目的としている。



■カトリック松が峰教会



■旧篠原家住宅



■上野本家住宅



■二荒山神社の石垣



■青源味噌店



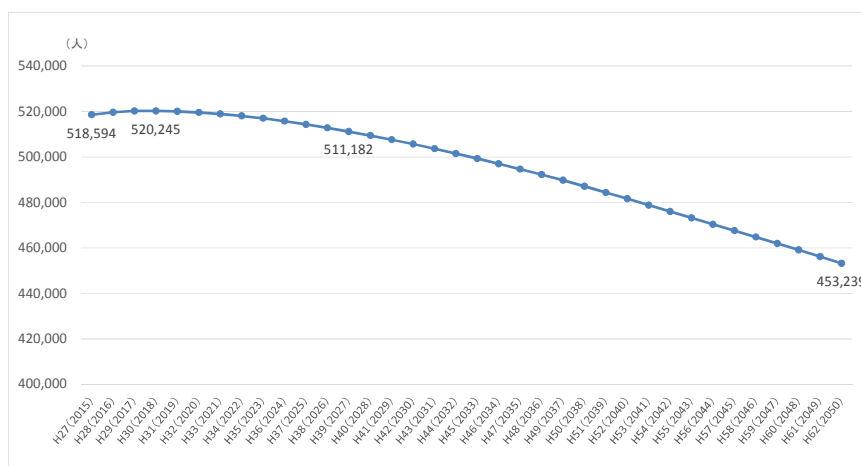
■ダイニング蔵おしゃらく

(3) 中心市街地に関する統計的なデータの把握・分析

① 人口動態等

(ア) 将来人口

本市の将来人口は推計の結果、平成30（2018）年にピークを迎え、その後なだらかに減少し、2050年に45万人程度まで減少することが見込まれます。

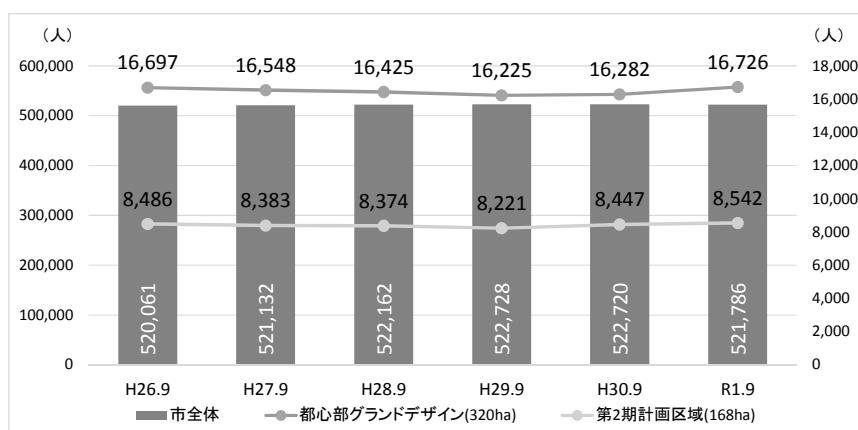


■市全体の人口の見込み

出典：第6次宇都宮市総合計画（平成30年3月）

(イ) 居住人口

市全体の居住人口は、令和元（2019）年9月に521,786人であり、平成30（2018）年以降減少傾向にあります。一方、中心市街地（第2期計画区域）の人口は、平成30（2018）年9月に8,447人（都心部グランドデザインの区域16,282人）と増加に転じ、さらに、平成31（2019）年1月の宇都宮大手地区第一種市街地再開発事業の工事竣工など、マンション供給が進み、居住人口は増加しました。

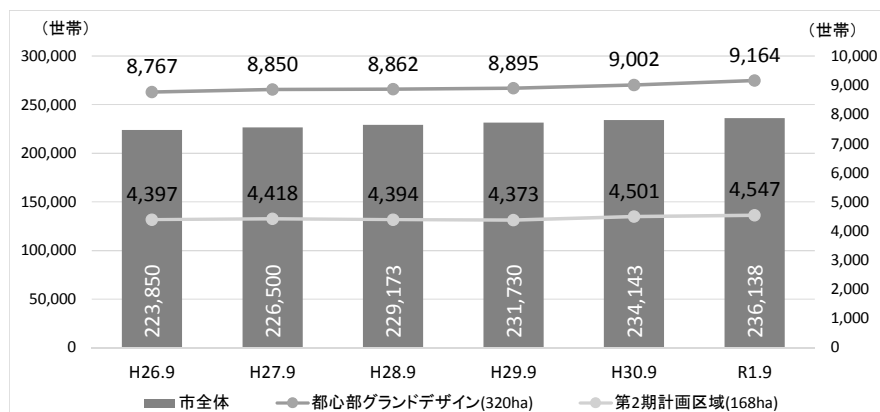


■市全体、都心部グランドデザイン及び第2期計画区域の居住人口の推移

出典：住民基本台帳人口（各年9月，外国人含む）

(ウ) 世帯数

市全体の世帯数は、令和元（2019）年9月に236,138世帯、また、中心市街地（第2期計画区域）の世帯数は、令和元（2019）年9月に4,547世帯（都心部グランドデザインの区域内では、9,164世帯）で、増加傾向にあります。



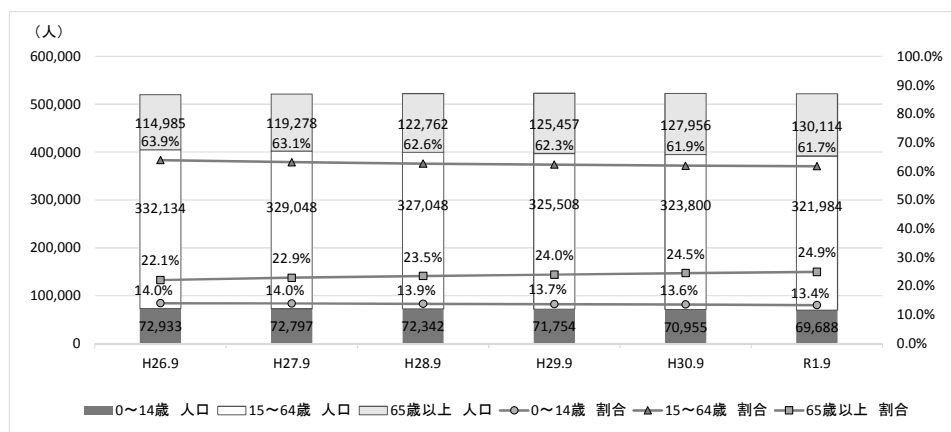
■市全体、都心部グランドデザイン及び第2期計画区域の世帯数の推移

出典：住民基本台帳人口（各年9月，外国人含む）

(エ) 年齢別人口

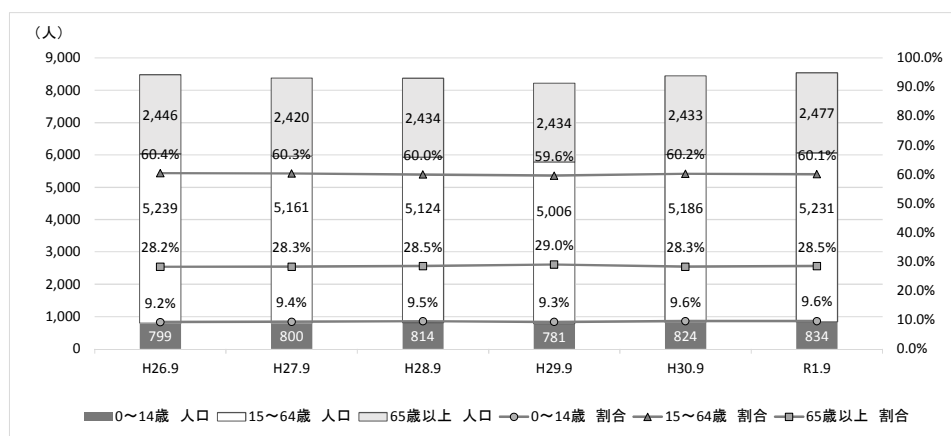
市全体の年齢別人口は、年少人口（14歳以下）及び生産年齢人口（15～64歳）が微減している一方で、65歳以上の人口が微増傾向にあります。

中心市街地（第2期計画区域）においては、年齢3区分全てにおいて微増傾向にあります。



■市全体の年齢3区分人口の推移及び構成比

出典：住民基本台帳人口（各年9月）

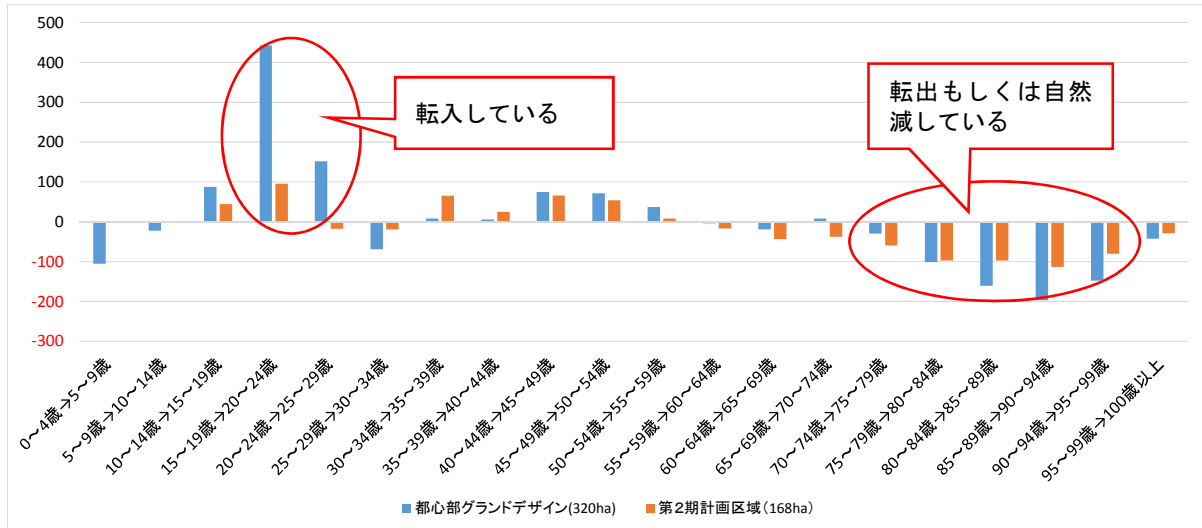


■第2期計画区域（168 ha）の年齢3区分人口の推移及び構成比

出典：住民基本台帳人口（各年9月）

(オ) 転入・転出

中心市街地（第2期計画区域）の平成26（2014）年から令和元（2019）年の人口動態を見てみると，都心部グランドデザインエリア（約320ha）では，60歳以上の人口が減少する一方で，15～29歳の人口が増加しています。つまり，若年層の転入の一方，高齢者は転出もしくは自然減があったものと推測されます。



■平成26（2014）年9月人口→令和元（2019）年9月人口の人口増減

出典：住民基本台帳人口（各年9月）

② 経済活力

■商業に係る主な出来事

年度	主な動き
平成 21 (2009) 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「中心商業地出店等促進事業補助金」制度の一部改正^{*1} ・ 新星堂カルチェファイブ宇都宮店閉店（9月） ・ ABC マート宇都宮店閉店（10月） ・ 宇都宮アンテナショップ「宮カフェ」オープン（11月） ・ 吉野家東武宇都宮駅前店閉店（2月） ・ ロッテリア宇都宮オリオン通り店閉店（3月）
平成 22 (2010) 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ マクドナルド宇都宮店閉店（4月） ・ 落合書店オリオン店がララスクエア5階に移転（7月） ・ ラパーク長崎屋宇都宮店がMEGAドン・キホーテ ラパーク宇都宮店に改装（8月） ・ 宮サイクルステーションオープン（10月） ・ クリテリウムレース初開催（10月） ・ ホテルアーバングレイス宇都宮オープン（10月） ・ T E P C Oラ・フォンテが平松本町に移転（11月） ・ シティタワー宇都宮竣工（12月） ・ 東日本大震災（3月）
平成 23 (2011) 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「中心商業地出店等促進事業補助金制度」の一部改正^{*2} ・ 宇都宮まちづくり推進機構が旧公益質屋を活用し、民間事業者と連携し、大谷石蔵レストラン「おしゃらく」をオープン（5月） ・ 学生による空き店舗活用事業 （星ヶ宮 ArtSpace・CommuniTEA・KANMAS プロジェクト）（10月～） ・ 栃木 SC アンテナショップ トッキースクエアオープン（3月） ・ ホテルアール・メッツ宇都宮が JR 宇都宮駅ビルに開業（3月）
平成 24 (2012) 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 下野新聞まちなか支局開局（4月） ・ 「魅力ある商店街等支援事業補助金制度」の拡充^{*3} ・ 宇都宮アート&スポーツ専門学校オリオン通り館開校（4月） ・ 下野新聞NEWS CAFE開店（旧マクドナルド宇都宮店舗）（6月） ・ オリオンACぶらざオープン（7月） ・ 旧合同タクシービル改修（10月） ・ 学生による空き店舗活用事業 （星ヶ宮 ArtSpace・ベトナム食堂・KANMAS プロジェクト）（10月～翌年9月） ・ ウェルシアオリオン通り中央店閉店（12月）
平成 25 (2013) 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「中心商業地出店等促進事業補助金制度」の一部改正^{*4} ・ 東武宇都宮百貨店がレストラン街を改装（4月）
平成 26 (2014) 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「中心商業地出店等促進事業補助金制度」の一部改正^{*5} ・ 「ガンバルまちなか活性化支援事業補助金」制度開始^{*6} ・ オリオンACぶらざにレストラン、買い物支援事業を行うはなむすびオープン（5月） ・ JR 宇都宮駅が改札前の商業施設を改装（12月）
平成 27 (2015) 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「中心商業地出店等促進事業補助金制度」の一部改正^{*7} ・ 「ガンバルまちなか活性化支援事業補助金」の一部改正^{*8} ・ docomo ショップオリオン通り店が江野町から馬場町へ移転（7月） ・ とらのあな宇都宮店オープン（12月）
平成 28 (2016) 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東武宇都宮百貨店の改装（28の新ブランド投入、キッズスクエアの整備）（9月） ・ オリオン通りにおいてオープンカフェの社会実験を実施（10月）
平成 29 (2017) 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ オリオン通りにおいてオープンカフェ事業の本格実施（4月） ・ 中心市街地活性化協議会において事業化支援制度「宇都宮街なか元気プロジェクト事業」の創設^{*9}
平成 30 (2018) 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業化支援制度「宇都宮街なか元気プロジェクト事業」の実施 ・ 東武宇都宮百貨店の改装（ルイヴィトン一部、ティファニー）（11月）

年度	主な動き
令和元 (2019) 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「中心商業地出店等促進事業補助金制度」の一部改正^{※10} ・ 宇都宮パルコ閉店（5月） ・ とらのあな宇都宮店閉店（8月） ・ 東武宇都宮百貨店の食品売り場を改装（9月） ・ 街なかの公共空間などを活用した社会実験の実施（11月） ・ ララスクエア宇都宮が「tonarie（トナリエ）宇都宮」としてオープン（2月）

※1 オリオン通りへの補助率（30%→50%）の増

※2 「[空き店舗対策連絡協議会]での検討結果を踏まえ改正」…家賃補助期間（1年間⇒6ヶ月）、家賃補助額（8千円/坪）、内装改造費要件（商店街コンセプトに合致する業種の上乗せ）の見直し

※3 ベンチ、駐輪ラック設置に対する補助新設

※4 「中心市街地における居住人口の増、周辺環境の変化に対応し、新規出店者の継続的な経営が可能となるよう改正」…対象業種（「教育、学習支援業」「医療、福祉」追加）、家賃補助額（4千円/坪）、家賃補助率（40%→50%「大通り（シンボルロード～東京街道）」、30%⇒40%「東武馬車道通り」「ユニオン通り」）、経営財務診断の拡充（出店時及び6ヶ月後に加え1年後追加、補助率30%→40%、上限1万円→1万5千円、1回につき）、内装改造費補助（補助率30%⇒家賃にあわせ30%～50%、上限80万円→150万円。対象経費を店舗改造に係る内外装工事費全てに拡充）、店舗改装費補助の新設（出店から2～5年以内のリニューアル工事費に対する補助、期間内1回に限る。補助率30%、上限50万円）

※5 家賃補助期間（6ヶ月→3ヶ月）

※6 商店街自ら実施する空き店舗を活用したコミュニティ創出事業などを支援するもの

※7 家賃補助の廃止

※8 店舗改装費への補助を新設

※9 「中心市街地活性化基本計画期間内に事業化を目指す事業」や「新たな活性化事業」の導出に向けた取組を加速するため、まちづくりに取り組みたい団体等へ、事業実施に向けた研究や検証にかかる経費を支援する制度を創設した。

※10 出店時の内外装改造費について、餃子通りの補助率を（30%→50%）に拡充※餃子関連店舗に限る

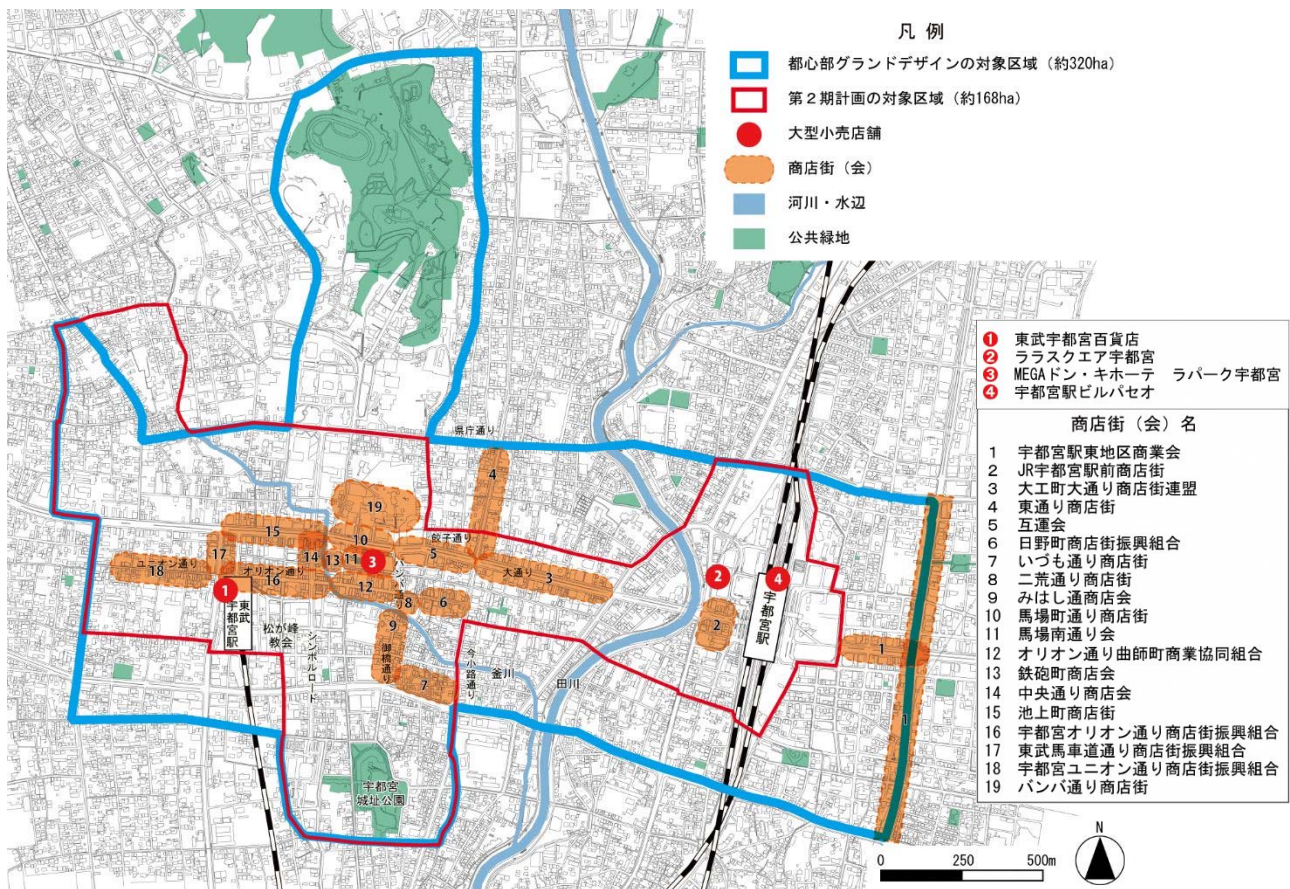
(ア) 商業集積の状況

商業統計調査の立地環境特性編のデータ（平成26（2014）年）を活用し、商業集積ごとの集計を行いました。

■商業集積名とデータの対応関係

商業集積名	立地環境特性編における商業集積地区※
センターコア	<ul style="list-style-type: none"> ・宇都宮オリオン通り商店街振興組合 ・オリオン通り曲師町商業協同組合 ・日野町商店街 ・馬場町通り商店街 ・みはし通り商店会 ・パルコ
福田屋	<ul style="list-style-type: none"> ・福田屋ショッピングプラザ
ベルモール	<ul style="list-style-type: none"> ・ベルモールSC
インターパーク	<ul style="list-style-type: none"> ・FKDショッピングモールインターパーク ・インターパークショッピングビレッジ
JR 駅西	<ul style="list-style-type: none"> ・JR 宇都宮駅前商店街 ・宇都宮駅ビルパセオ ・トナリエ宇都宮（※～令和2（2020）.1 ララスクエア宇都宮）

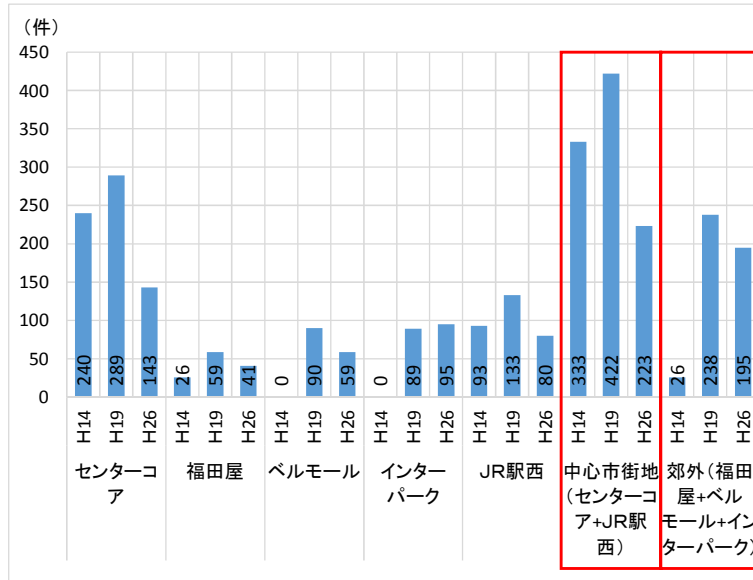
※商業統計調査の立地環境特性編については、商業集積地区名が記載されているが、厳密にどのエリアからどのエリアまでが記載された商業集積地区に該当するのか明記されていないため、下記の図面もおおむねの位置であることに留意する必要がある。



■中心市街地商店街等の位置図

(イ) 各商業集積における店舗数とその推移

中心市街地の店舗数は、平成19(2007)年以降減少傾向にあり、郊外の商業集積内の店舗数に比べ、中心市街地の商業集積内の店舗数の方が多くなっています。

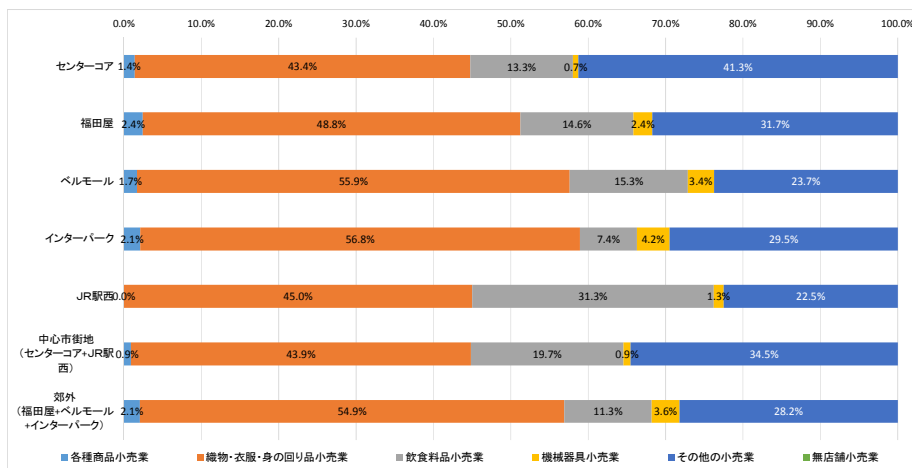


■各商業集積の店舗数

出典：商業統計調査（立地環境特性編）

(ウ) 各商業集積における店舗業種構成

中心市街地のうちセンターコアでは、「織物・衣服・身の回り品小売業」の割合が高く、主に飲食料品を小売りする店舗の割合が低いことから、生活に必要な最寄り品を扱う店舗が少ない状況にあります。



■各商業集積地区における店舗業種構成

出典：平成26年度商業統計調査（立地環境特性編）

※各種商品小売業：主に百貨店・総合スーパー等

飲食料品小売業：主として飲食料品を小売する事業所

その他の小売業：主に、医療品・化粧品、スポーツ用品、玩具、書籍、文房具、時計、その他分類されない小売業

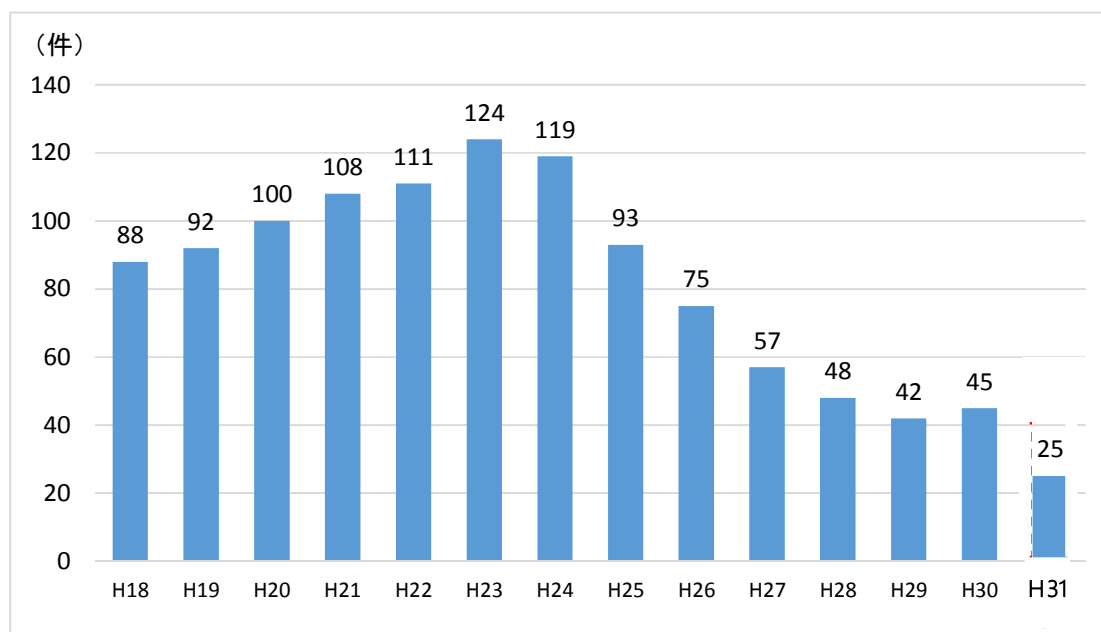
※なお、平成14年3月に日本標準産業分類が改訂（第11回）されたことに伴い、商業統計表の産業分類が変更され、大分類「I-卸売・小売業、飲食店」から「J-卸売・小売業」に改訂、飲食店は「M-飲食店、宿泊業」に移行され、商業統計上、飲食店は調査対象から除外されている。

(エ) 空き店舗

中心市街地の空き店舗数^{※1}は、平成23（2011）年度に124件ありましたが、平成15（2003）年度から実施している中心商業地出店等促進事業補助金^{※2}の取組などにより、平成24（2012）年度以降は減少に転じ、令和元（2019）年度は25件となっています。

※1 宇都宮まちづくり推進機構による独自の調査と不動産会社からの情報を基にしたもの

※2 中心商業地出店等促進事業補助金とは、中心商業地における出店促進を図るため、経営財務診断や出店時の内外装工事、リニューアルに要する工事等に対し支援するもの。



■空き店舗数の推移

出典：宇都宮市中心市街地空き店舗情報システム（各年4月）

(参考) 中心商業地出店等促進事業補助件数

		H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
補助認定件数 合計		21	32	44	28	22	36	26	26	21	14	16
業種内訳	小売業	3	7	13	10	7	4	4	5	7	2	1
	飲食業	10	18	25	16	11	26	17	14	11	10	12
	サービス業他	8	7	6	2	4	6	5	7	3	2	3

出典：宇都宮市中心商業地出店等促進事業補助金執行実績

(オ) 市内の大規模店舗

本市には、10,000㎡以上の大規模な商業施設は12施設あり、そのうち4施設が中心市街地に立地しています。

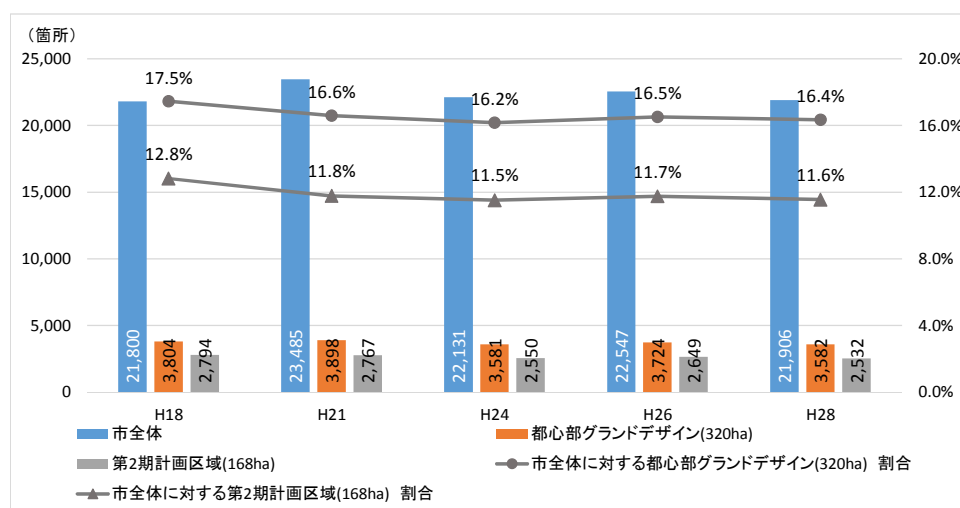
■宇都宮市内の大規模店舗（10,000㎡以上）

	店 舗 名	店舗面積(㎡)	開設年月	中心市街地
1	FKD ショッピングモール宇都宮インターパーク店	69,582	H15.7	
2	ショッピングモールベルモール	47,996	H16.10	
3	福田屋ショッピングプラザ宇都宮店	39,180	H6.10	
4	東武宇都宮百貨店	35,749	S33.6	○
5	アピタ宇都宮店	27,089	H12.9	
6	トナリエ宇都宮 (※～R2.1 ララスクエア宇都宮)	25,898	H17.4	○
7	MEGA ドン・キホーテ ラパーク宇都宮店	19,689	H22.8	○
8	カトレアガーデン宇都宮南	12,662	H16.10	
9	(宇都宮スーパーモール) カインズ宇都宮平出店, オートアールズ宇都宮バイパス店	11,800	H12.11	
10	宇都宮駅ビルパセオ	10,724	S49.11	○
11	宇都宮テクノポリスショッピングセンター	10,544	H21.2	
12	東京インテリア家具インターパーク店	10,539	H20.11	

出典：全国大型小売店総覧を基に作成

(カ) 事業所数

市全体の事業所数は、平成21（2009）年をピークに減少傾向にあり、平成28（2016）年に21,906箇所、中心市街地（第2期計画区域）には2,532箇所（都心部グランドデザインの区域内では、3,582箇所）立地しています。また、市全体に対する中心市街地（第2期計画区域）の事業所数の割合は、平成21（2009）年以降横ばい傾向にあり、平成28（2016）年には11.6%（都心部グランドデザインの区域内では、16.4%）となっています。



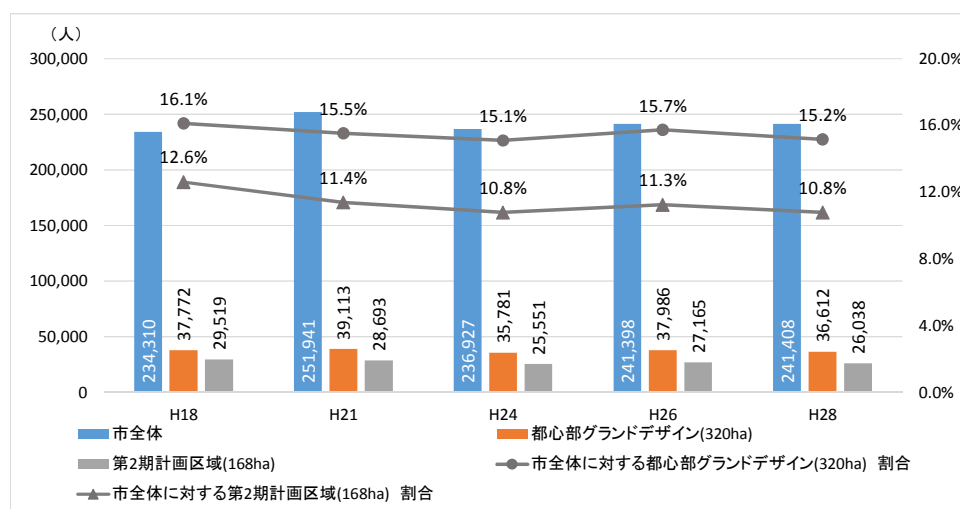
■市全体及び中心市街地の事業所数の推移

出典：事業所・企業統計（平成18年度），経済センサス（平成21年度～）

※集計の対象は、民営事業所（公務を除く全産業）

(キ) 従業者数

市全体の従業者数は、平成28（2016）年に241,408人であり、中心市街地（第2期計画区域）では26,038人（都心部グランドデザインの区域内では、36,612人）となっており、やや減少傾向にあります。また、市全体に対する中心市街地（第2期計画区域）の従業者数の割合は、平成21（2009）年以降横ばい傾向にあり、平成28（2016）年には10.8%（都心部グランドデザインの区域内では、15.2%）となっています。



■市全体及び中心市街地の従業者数の推移

出典：事業所・企業統計（平成18年度），経済センサス（平成21年度～）

※集計の対象は、民営事業所（公務を除く全産業）

(ク) オフィス床需要

JR宇都宮駅周辺の小規模のオフィス床需要は、2015年3月期から2018年3月期まで一定程度あり、空室率が非常に低くなっています。

一方で、大規模のオフィス床需要については、受け皿となるまとまった面積の空室が少なく、2016年に延床1,400坪の空室が供給されたものの、品薄感がある状況です。

■ オフィス床需要の動向

時期	賃料（共益費込み）	需給の動向
2019年3月期	8,000～11,000円/坪	宇都宮市内では、JR側、東武側を問わず、空室率低下が進む。需要は20～50坪程度が大半であるが、拡張・新規・環境改善など前向きなものが多い。長期化していた70～100坪クラスの空室も徐々に消化傾向にあり、満室稼働の物件が増加してきている。
2016年3月期	8,000～11,000円/坪	3月に竣工した「宇都宮D Iビル」が、延床1,400坪の空室を市場に供給した。100坪を超える大型ニーズの受け皿となっている。

出典：CBRE ウェブサイト「関東・甲信越賃貸不動産市場」

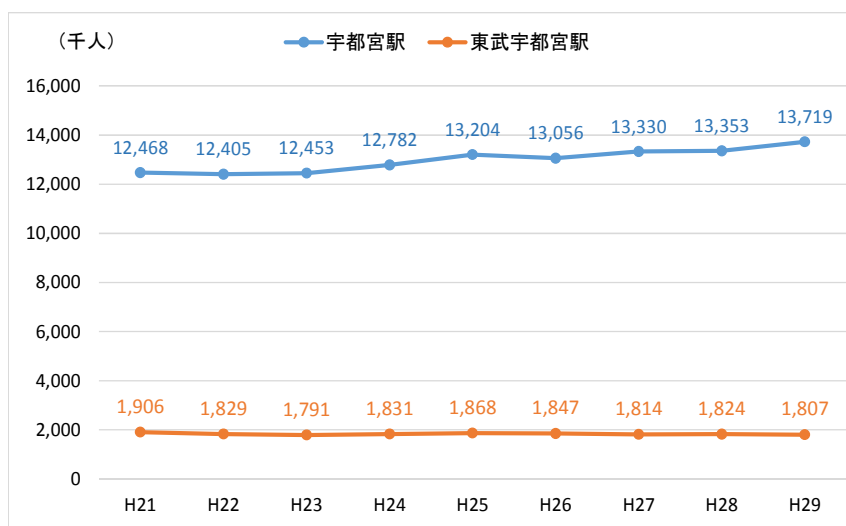
③ 交通関係

(ア) 公共交通の状況

中心市街地への来訪手段は、自家用車が約6割であり、公共交通を利用する来訪は2割と
なっています。

鉄道については、JR宇都宮駅及び雀宮駅の利用者がやや増加傾向にあります。

また、大通りでは、1日200本以上のバスが運行されています。



■宇都宮駅、東武宇都宮駅乗車人員数推移

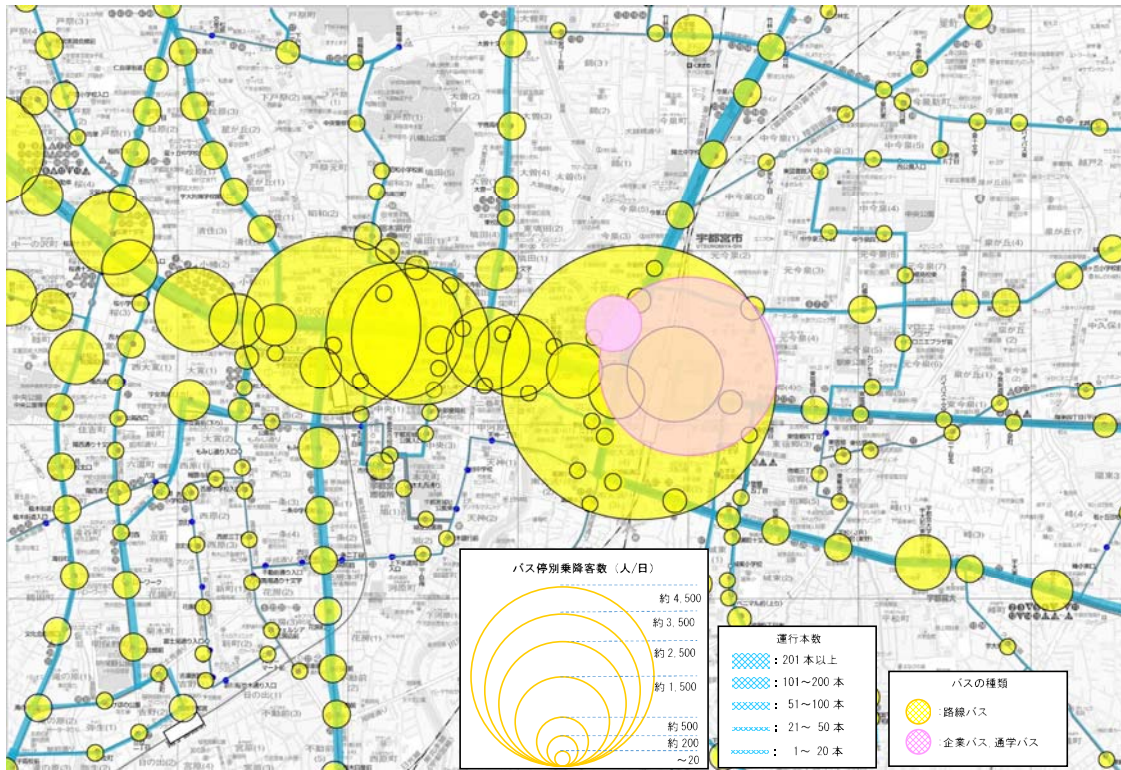
出典：宇都宮市統計書（令和元年）

■市内各駅別年間乗車人員数

単位：千人

	JR				東武鉄道			
	宇都宮駅	雀宮駅	鶴田駅	岡本駅	東武宇都宮駅	南宇都宮駅	江曾島駅	西川田駅
H21	12,468	1,217	505	660	1,906	222	442	452
H22	12,405	1,211	509	661	1,829	216	417	420
H23	12,453	1,386	479	674	1,791	203	405	409
H24	12,782	1,549	469	700	1,831	199	418	398
H25	13,204	1,626	487	710	1,868	199	418	418
H26	13,056	1,618	483	692	1,847	206	414	432
H27	13,330	1,668	507	730	1,814	204	411	433
H28	13,353	1,685	523	752	1,824	200	406	438
H29	13,719	1,731	533	888	1,807	220	407	439

出典：宇都宮市統計書（令和元年）

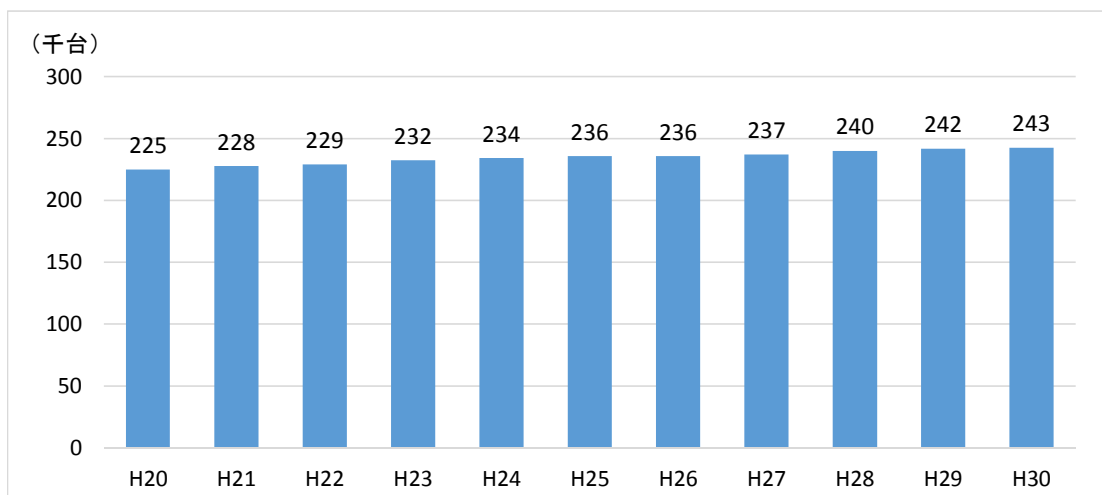


■ 中心市街地におけるバス路線の運行本数

出典：バスネットワーク再編・利便化に関する調査（平成 26 年）

(イ) 自動車保有状況

宇都宮市における自家用乗用車の保有台数の推移をみると、平成 20（2008）年以降も徐々に増加しており、平成 30（2018）年度は 243 千台となっています。



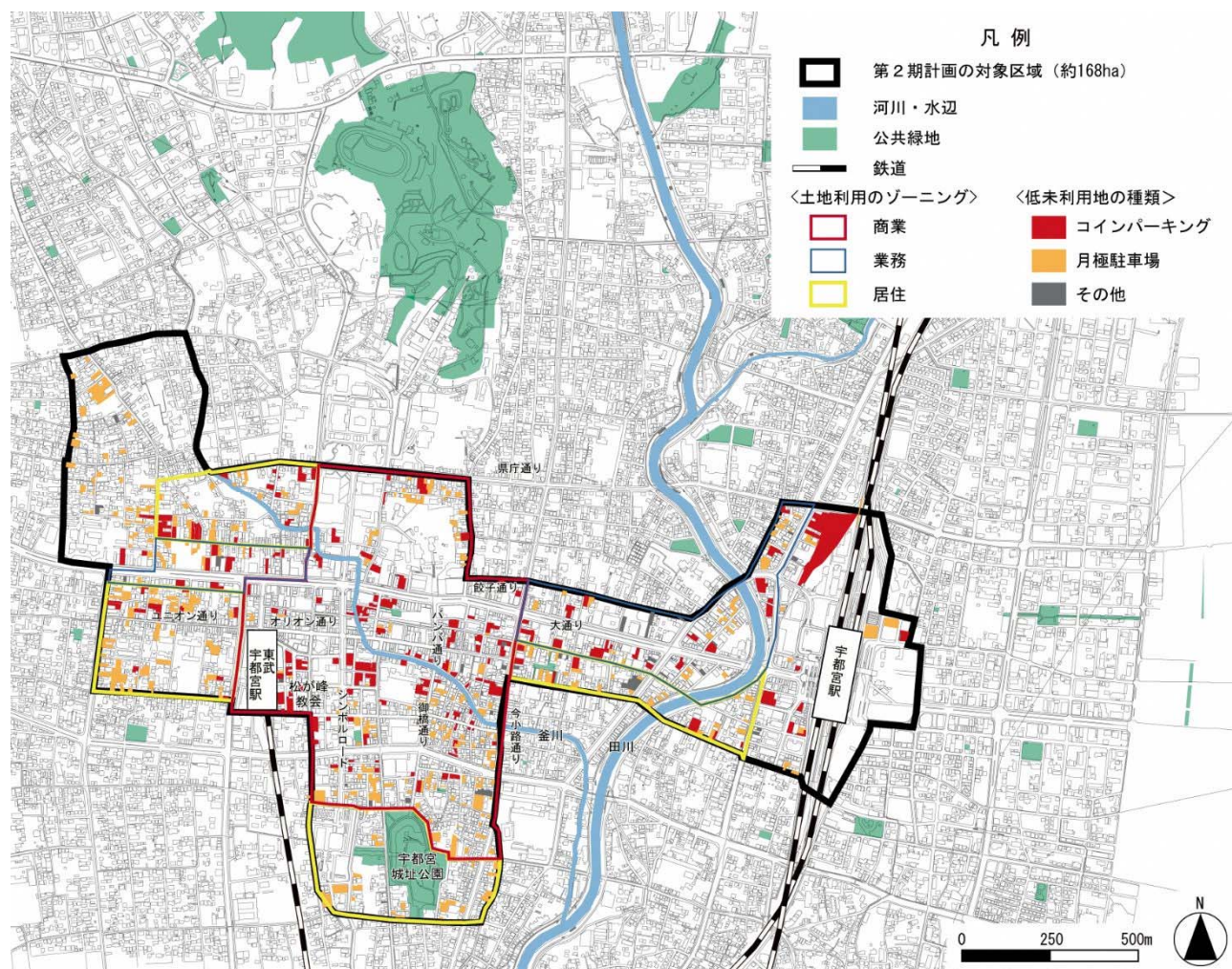
■ 自家用車の保有台数の推移

出典：国土交通省 関東運輸局 市区町村別自動車保有車両数（平成 31 年 3 月末）

(ウ) 駐車場の状況

中心市街地には、556か所の駐車場があり、面積は約15.6万㎡、1か所当たりの面積は280㎡となっています。

駐車場の利用形態は、月極駐車場が49.1%で最も多く、次いでコインパーキングが45.3%となっています。コインパーキングは大通りを中心に、月極駐車場はその外縁に立地している傾向がうかがえます。



■種類別駐車場の分布状況 (平成28(2016)年6月現在)

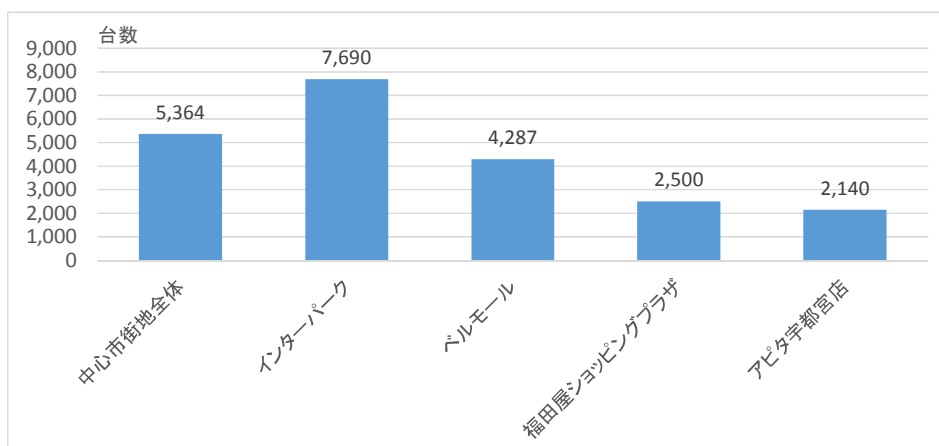
■中心市街地における駐車場の立地状況

箇所数	駐車場 総面積	規模 特性		利用形態 (箇所数, 面積, 駐車場の総面積に 占める割合) ※面積割合の多い順に記載
		中心市街地(または各 ゾーン)の総面積に占 める駐車場の割合	駐車場1か所 当たりの面積	
556	155,604㎡	9.7%	280㎡	<ul style="list-style-type: none"> ・月極駐車場 (327か所, 76,437㎡, 49.1%) ・コインパーキング (188か所, 70,430㎡, 45.3%) ・その他 (41か所, 8,737㎡, 5.6%)

出典：宇都宮市中心市街地における土地の有効活用に向けた基礎調査 (平成29年3月)

(エ) 各商業集積における駐車場の収容台数

インターパークの駐車場収容台数は7,690台と他の商業集積地よりも多くなっています。中心市街地を訪れる際に、無料駐車場の有無や車でのご来館を重視する回答が多いことから、一定規模の駐車場が、条件次第で無料で使える駐車場がある郊外型の商業施設に、買い物客が魅力を感じている可能性はあり、中心市街地が郊外型の商業施設に集客を吸引されている要因の一つと推察されます。



■各商業集積地における駐車場の収容台数

出典：中心市街地における土地の有効活用に向けた基礎調査（平成 29 年 3 月）、全国大型小売店総覧 2018

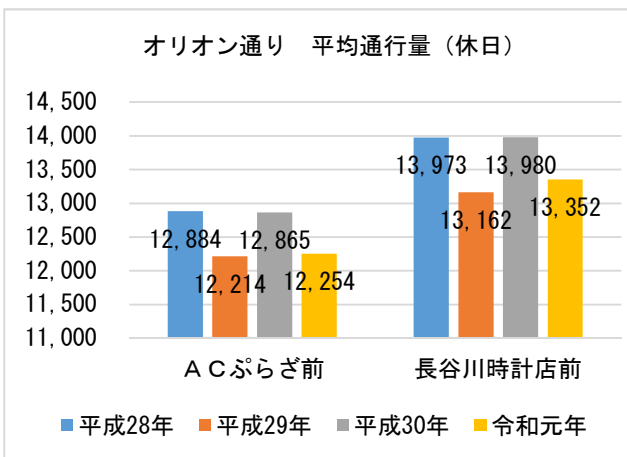
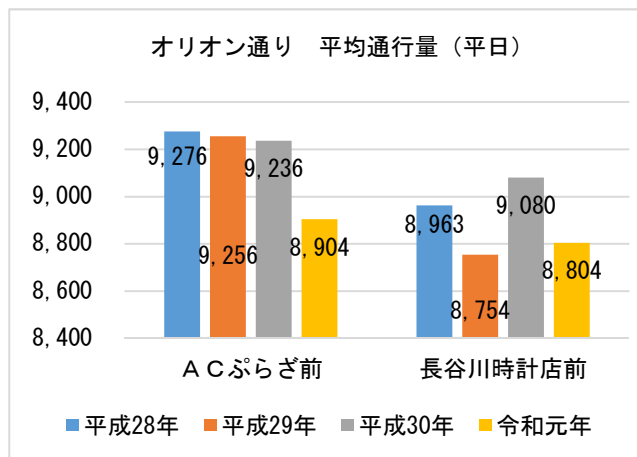
※「中心市街地における土地の有効活用に向けた基礎調査」にある中心市街地 168ha のコインパーキングの収容台数に、「全国大型小売店総覧 2018」における、東武宇都宮百貨店本店、ララスクエア宇都宮、MEGA ドン・キホーテパーク宇都宮店、宇都宮パルコ、宇都宮ステーションビル・パセオ、うつのみや表参道スクエアの駐車場台数（共有の場合は全体の収容台数）を加算した数

※インターパークは、「全国大型小売店総覧 2018」に示された、FKD ショッピングモール宇都宮インターパーク店、カトリアガーデン宇都宮南店、東京インテリア家具インターパーク店、ケーズデンキインターパーク宇都宮、カワチ薬品上三川インター店、インターパークファッションモールの駐車場台数を加算した数

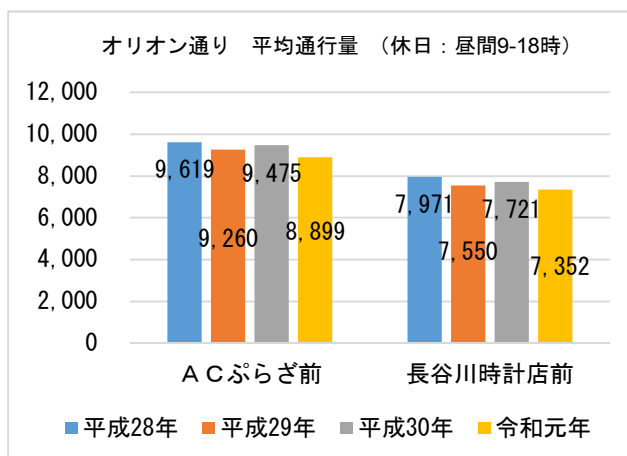
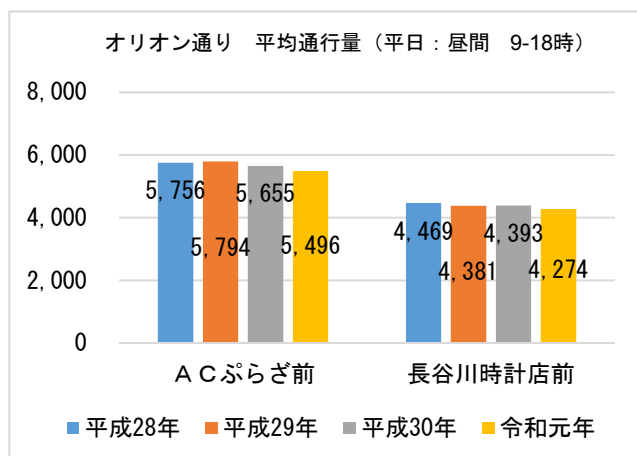
(オ) 通行量自動測定器におけるオリオン通りの歩行者・自転車通行量

平成28(2016)年度からオリオン通り^{*}に通行量自動測定器を設置することで、通年・終日の通行量を把握できるようになり、夜間・休日を中心にオリオン通りの通行量が増加傾向にあることが分かりました。

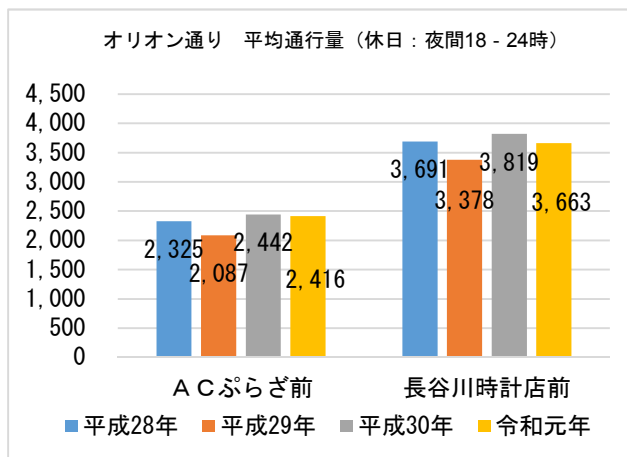
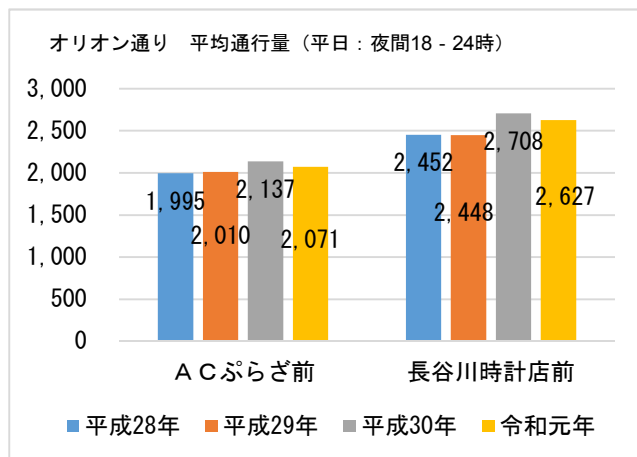
※長谷川時計店前(曲師町)及びオリオンACぶらざ前(江野町)2地点の日単位の平均値(※年次は暦年)



■終日



■昼間(9時~18時)

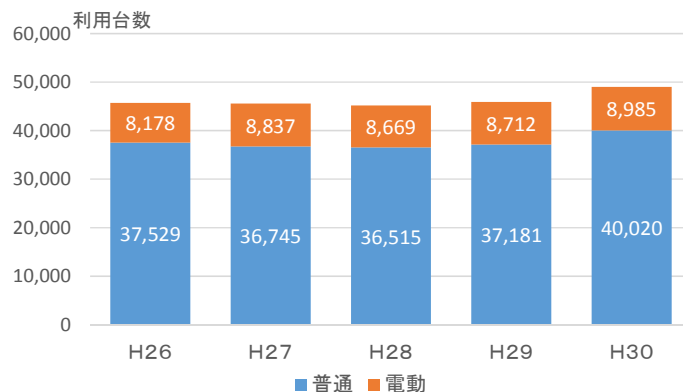


■夜間(18時~24時)

出典: 通行量自動測定器によるデータを基に作成

(カ) レンタサイクル

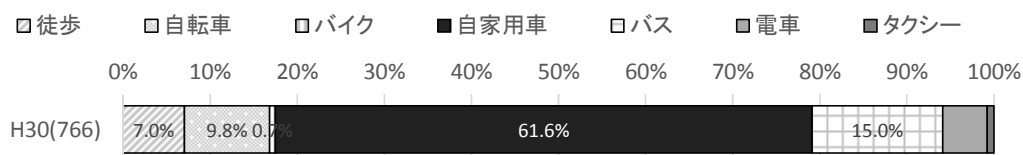
自転車利用者の利便性の向上を図り、放置自転車の解消及び中心市街地の回遊性向上を目的にレンタサイクルを実施しています。平成30（2018）年で、年間約5万台近くの利用があります。



■ レンタサイクルの利用台数の推移

(キ) 中心市街地への来街手段

中心市街地への来街手段として最も多いのは「自家用車」で61.6%となっており、次いで「バス」が15.0%となっています。



■ 中心市街地への来街手段

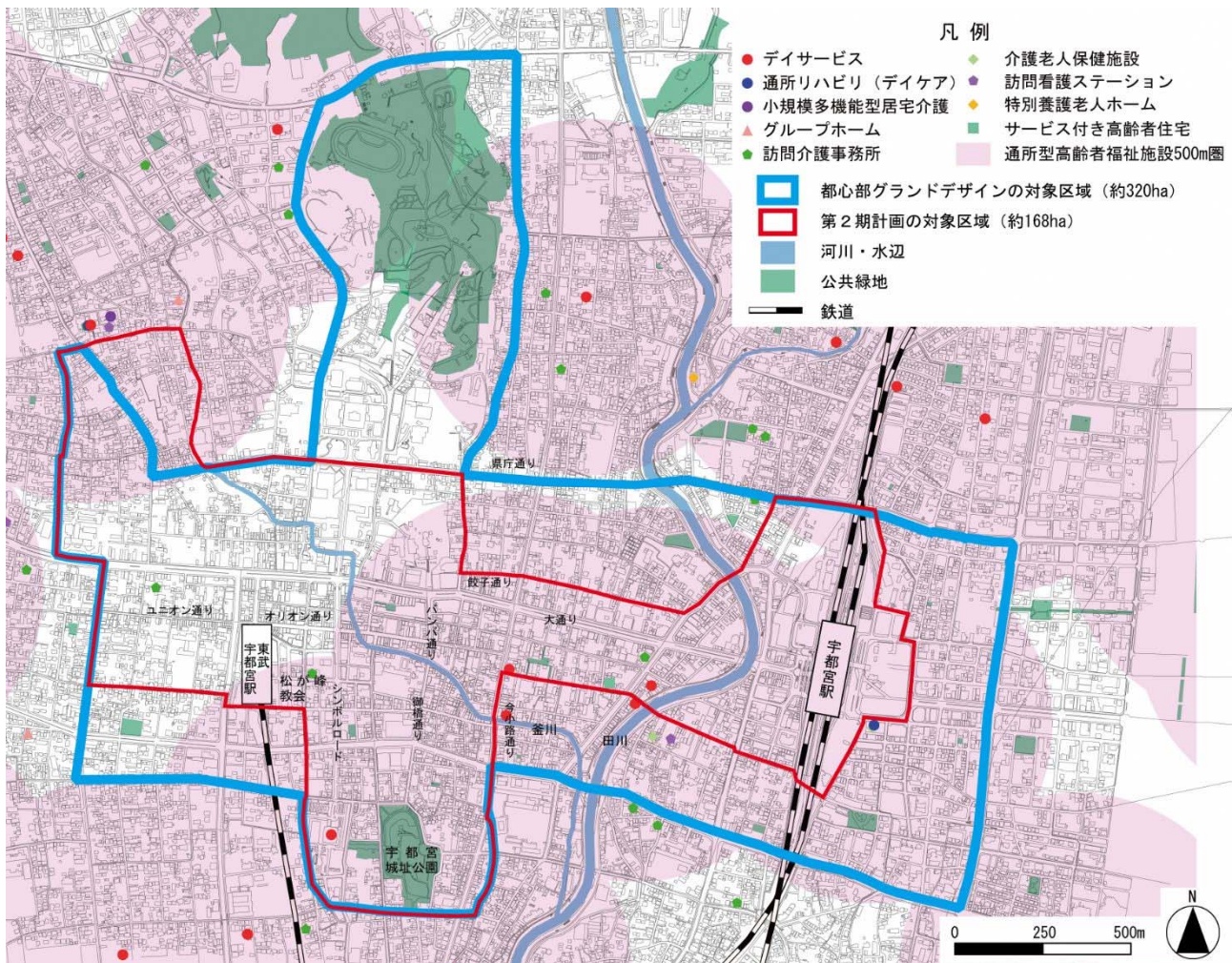
出典：中心市街地の活性化に関する市民アンケート調査（平成30（2018）年）

④ 都市機能関係

(ア) 福祉施設

通所系の介護施設であるデイサービス、デイケア、小規模多機能型居宅介護^{※1}の徒歩圏（500m圏）を見ると、介護療養型医療施設である比企病院が近接する田川沿いに徒歩圏のカバー圏域があります。

また、サービス付き高齢者向け住宅^{※2}（1棟：59戸）も、介護サービス事業所が複数集まっているエリアに立地しています。



■高齢者福祉施設の分布

出典：宇都宮市立地適正化計画のデータを基に作成

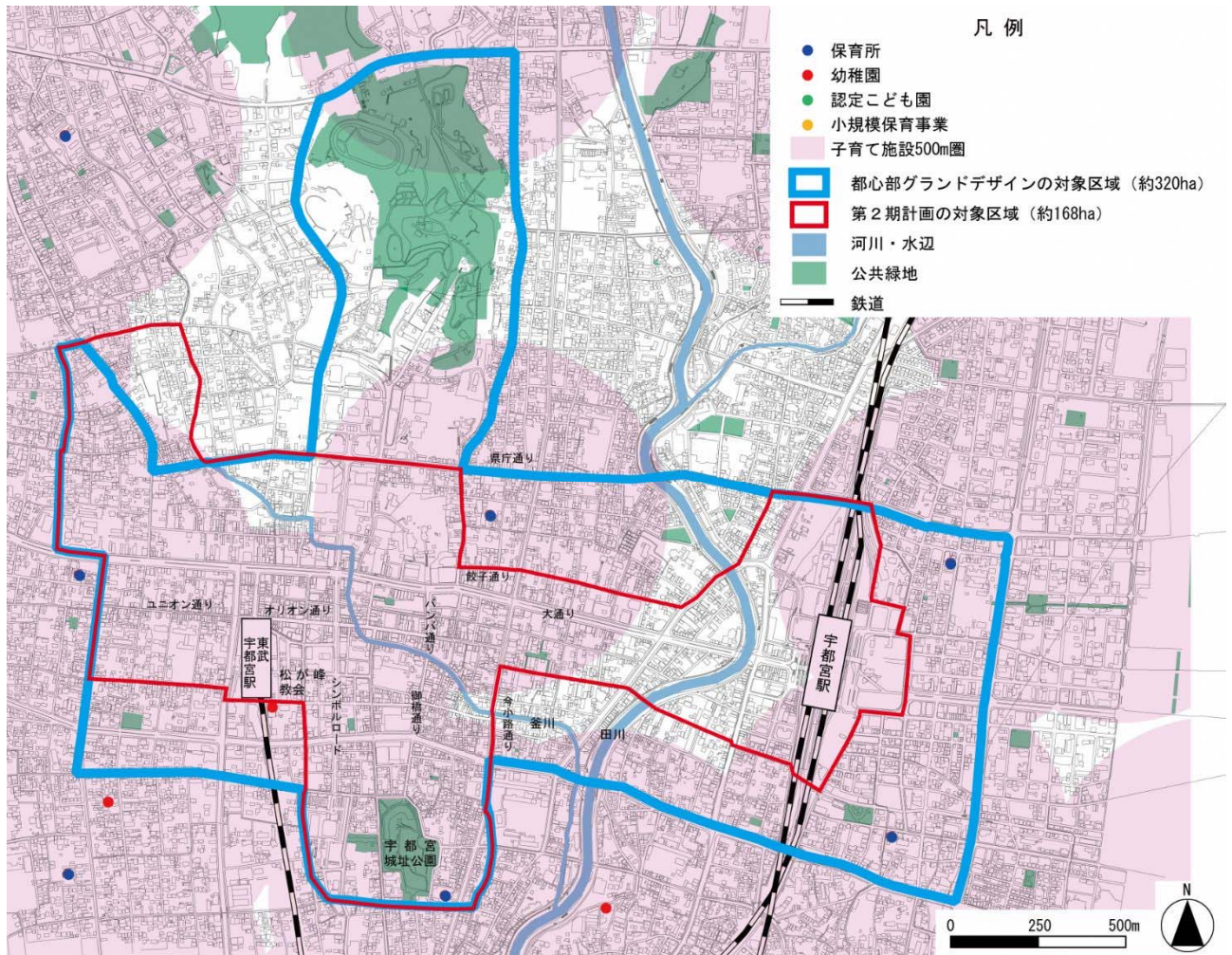
※1 小規模多機能型居宅介護とは、施設への「通い」を中心として、短期間の「宿泊」や利用者の自宅への「訪問」を組合せたサービス

※2 サービス付き高齢者向け住宅とは、介護・医療と連携して高齢者を支援するサービスを提供する住宅のこと

(イ) 子育て支援施設

都心部グランドデザインの区域には、保育所が4施設、幼稚園が1施設立地しており、区域の周辺部、小規模保育事業も合わせた子育て施設は計12施設となります。

なお、うつのみや表参道スクエア（宇都宮市民プラザ内）には、生後6ヶ月から小学校就学前の子どもを対象に、街なかでの買物、病院、幼稚園や学校等の行事などに合わせて利用することができる一時預かり保育施設（ゆうあいひろば内）があります。



■ 保育園・幼稚園の分布

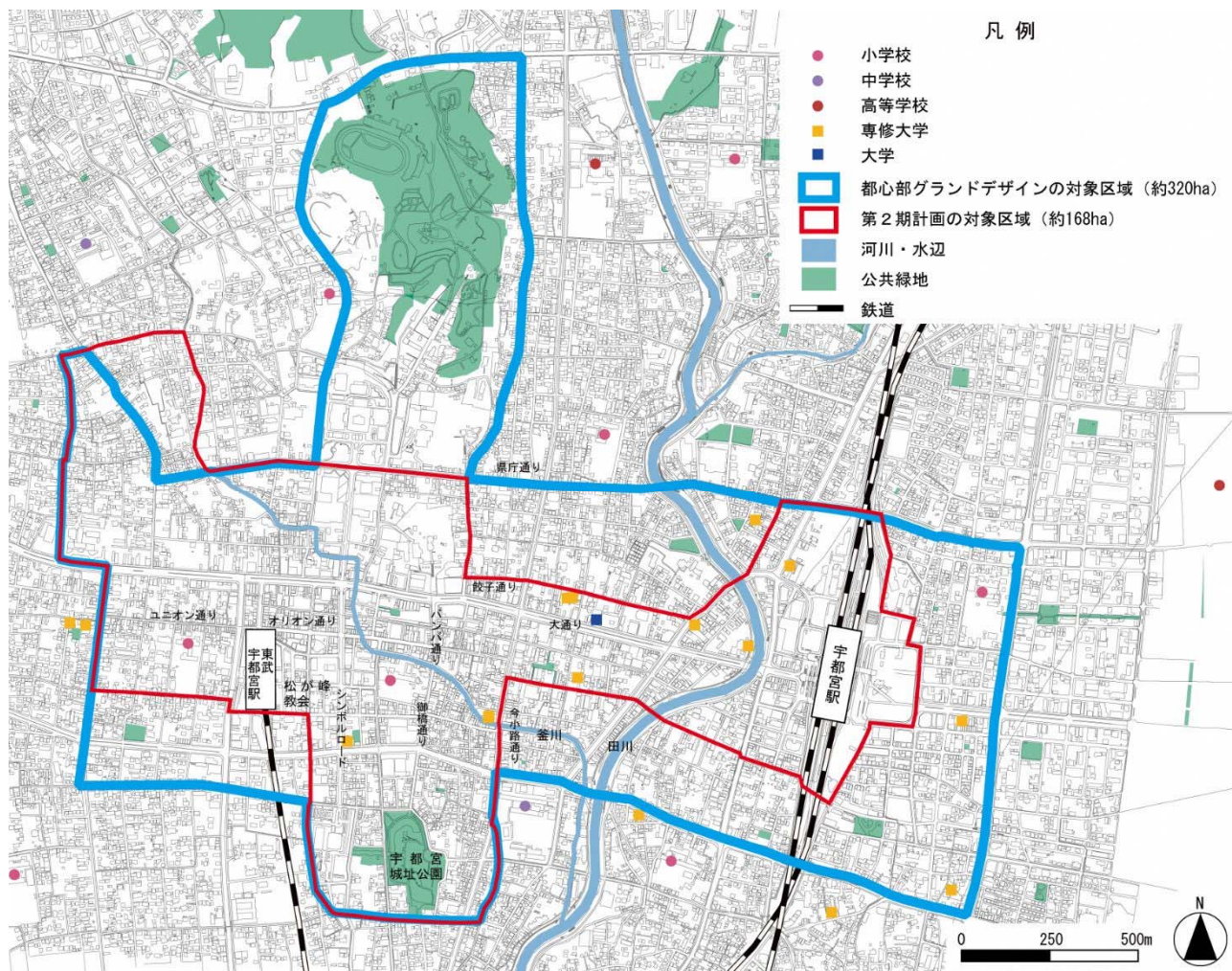
出典：宇都宮市立地適正化計画のデータを基に作成

(ウ) 教育施設

中心市街地には小学校が3校立地していますが、中学校及び高等学校は立地していません。小学校の学級数(平成30年5月1日現在)は、中央小が11学級(1学年平均1.8学級)、西小が7学級(1学年平均1.2学級)、今泉小が23学級(1学年平均3.8学級)であり、JR宇都宮駅西側の小学校の学級数が少なくなっています。一方で、今泉小は増加傾向となっています。

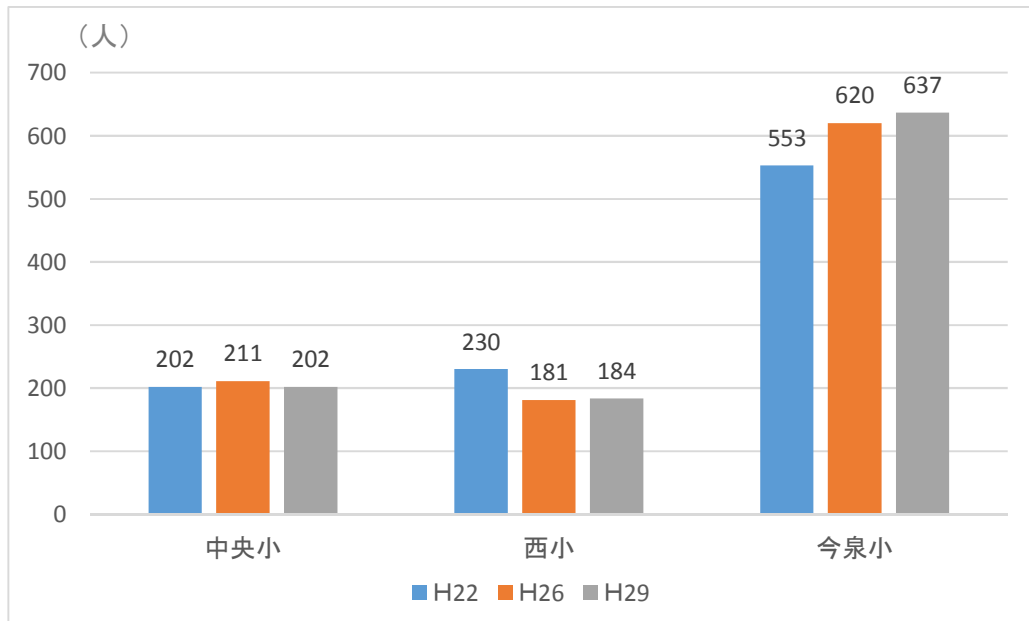
大学(宇都宮共和大学)及び専門学校(14校)は、大通りを中心とした立地となっており、若い世代の存在はポテンシャルとして捉えることができます。

また、専門学校は市内に34校が立地し、中心市街地には約半数が集積しています。



■教育施設の分布

出典：宇都宮市立地適正化計画のデータを基に作成



■ 中心市街地の小学校の児童数の推移

出典：宇都宮市統計書（平成 30 年度）

(エ) 空き家の立地状況

中心市街地には多くの空き家があり、特に、土地区画整理事業実施地区の小幡・清住エリアに多く分布しています。

■ 中心市街地周辺における空き家

	空き家件数	増減率
H25	451 件	-
H29	483 件	7 %

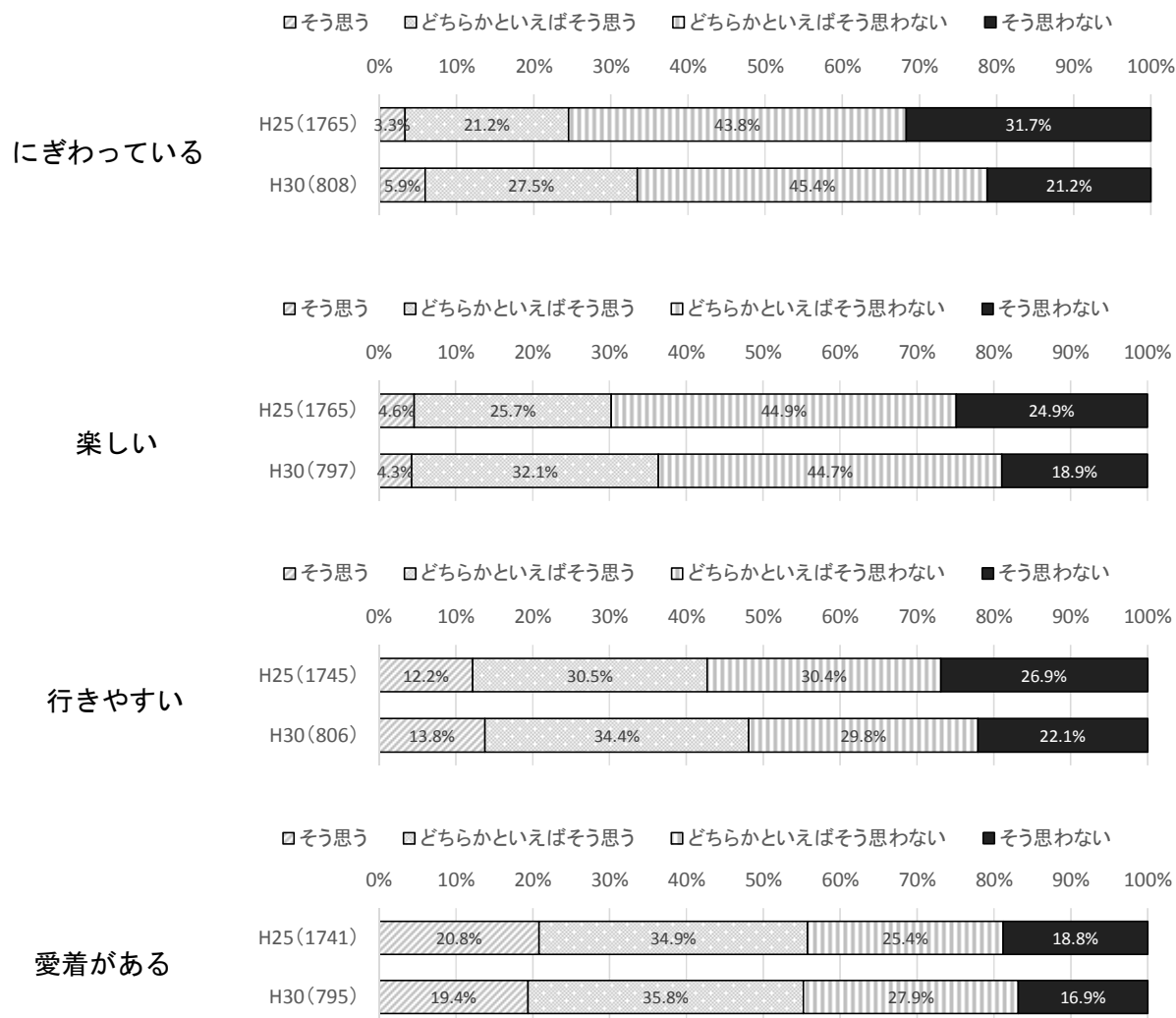
※中心市街地を包含する中央・西・東・築瀬・今泉地区の合計

出典：宇都宮市空き家実態調査（平成 29 年度）

⑤ 中心市街地の活性化に関する市民アンケート調査（H30）による市民ニーズ等の把握

（ア）中心市街地の印象の変化

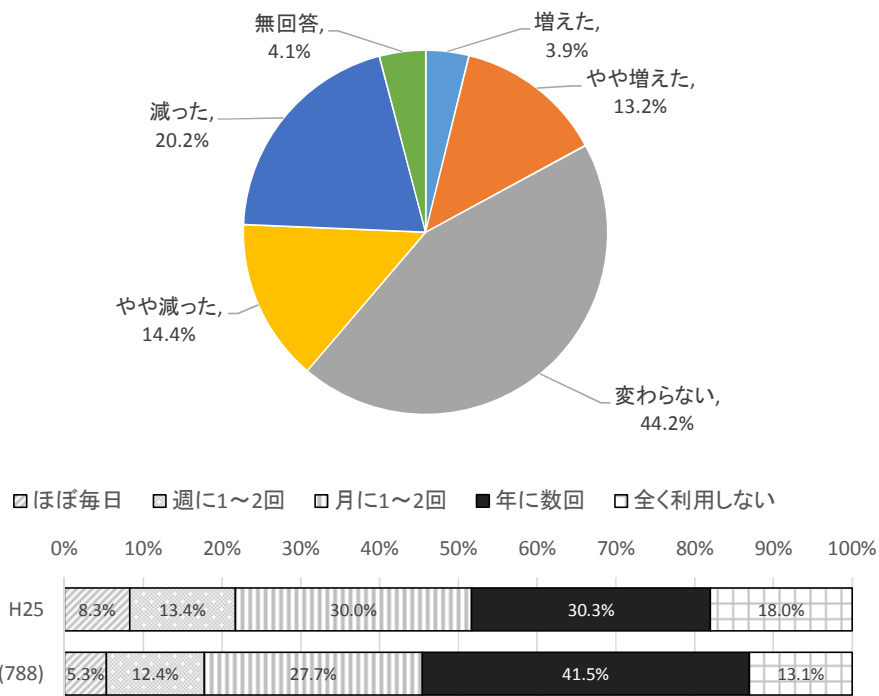
平成25（2013）年（5年前）と比べ、中心市街地が「にぎわっている」と思っている人が約9%増加、「楽しい」・「行きやすい」と思っている人がそれぞれ約6%増加しています。また、中心市街地に「愛着がある」と思っている人はほとんど変化していません。



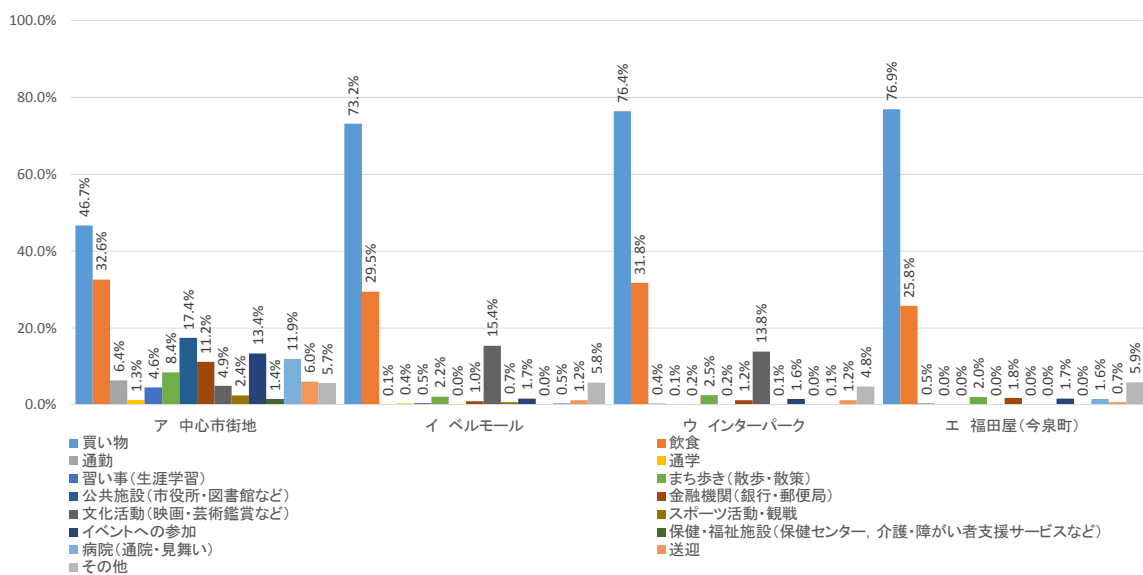
(イ) 中心市街地への来街状況

中心市街地の来訪頻度について、全体の4割が5年前と比較して「変わらない」と回答しています。

また、5年前と比較して来訪頻度が「増えた（「増えた」「やや増えた」の合計）」17.1%に対して、「減った（「やや減った」「減った」の合計）」34.6%が上回っている状況で、「年に数回」しか訪れない人が増加しています。

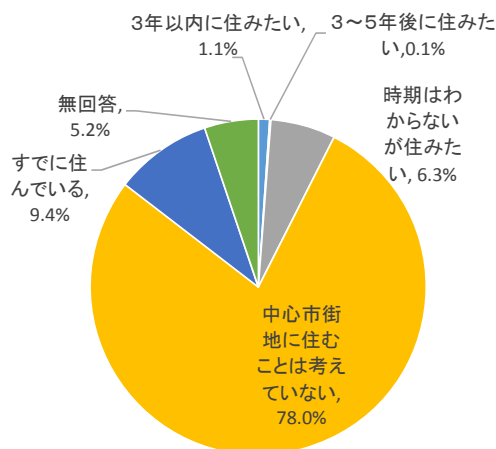


中心市街地への来訪目的は、「買い物」が46.7%と最も高く、次いで「飲食」が32.6%、「公共施設（市役所・図書館など）」が17.4%となっています。



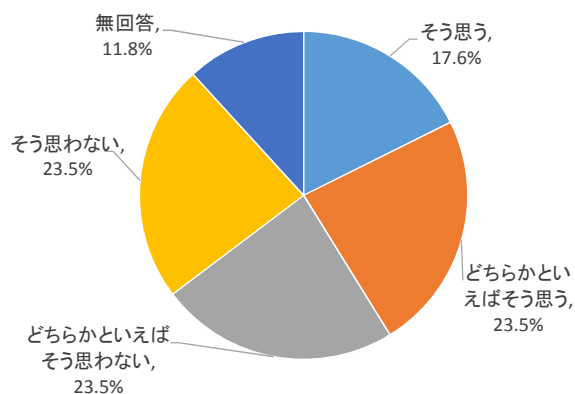
(ウ) 中心市街地への居住意向

全体の約8割が「中心市街地に住むことは考えていない」と回答しています。



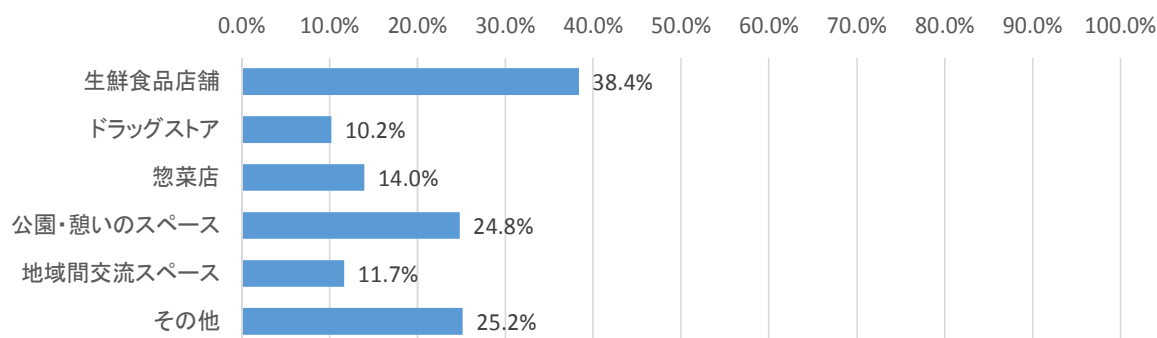
(エ) 中心市街地での住みやすさ・暮らしやすさ

5年前から中心市街地に住んでいる人のうち、「住みやすくなった・暮らしやすくなった(「そう思う,」「どちらかといえばそう思う」の合計)」が41.1%に対して、「思わない(「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」の合計)」が47%となっています。



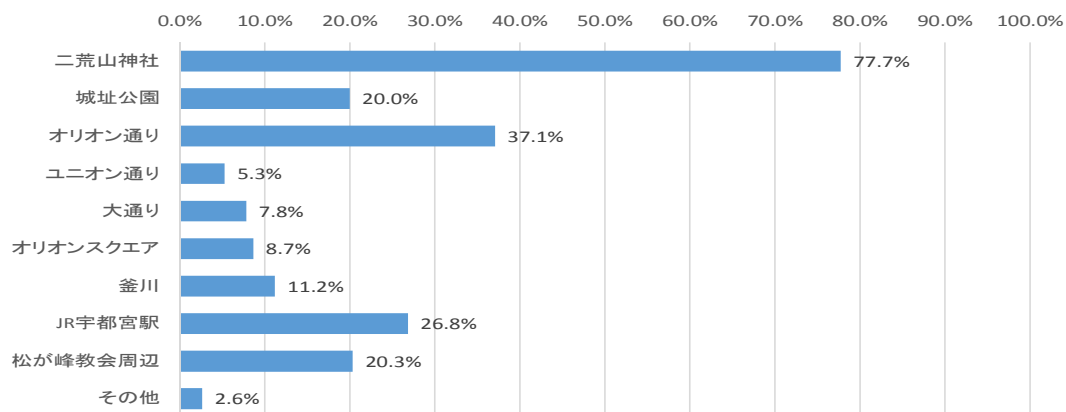
(オ) 中心市街地に住むかを検討する場合、不足していると感じるもの

中心市街地に不足しているものは、「生鮮食品店」が38.4%と最も高く、次いで「その他」が25.2%、「公園・憩いのスペース」が24.8%となっています。



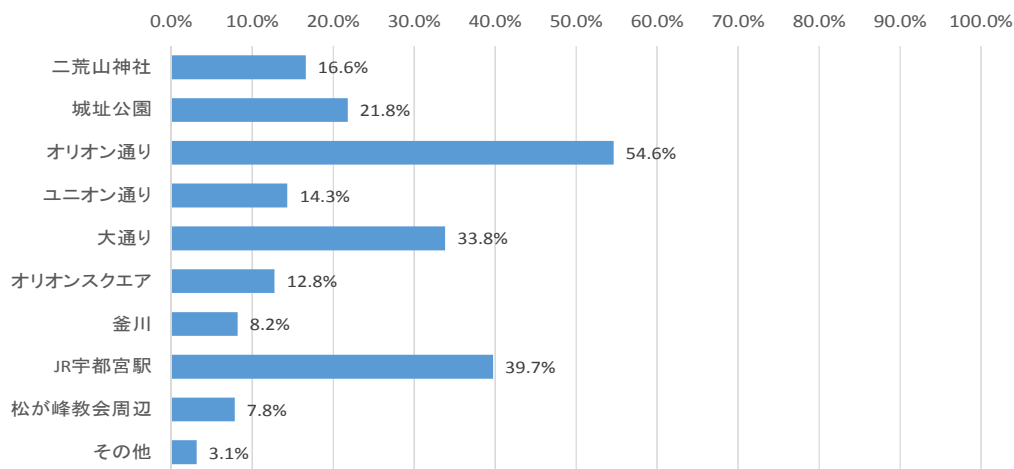
(カ) 街なかで魅力的だ、宇都宮らしいと思う場所・エリア

街なかで魅力的だ、宇都宮らしいと思う場所・エリアは、「二荒山神社」が77.7%と最も高く、次いで「オリオン通り」が37.1%、「JR宇都宮駅」が26.8%となっています。



(キ) 街なかで今後重点的に魅力を向上させるべきだと思う場所・エリア

街なかで今後重点的に魅力を向上させるべきだと思う場所・エリアは、「オリオン通り」が54.6%と最も高く、次いで「JR宇都宮駅」が39.7%、「大通り」が33.8%となっています。



3. 第2期計画の実施状況と取組評価

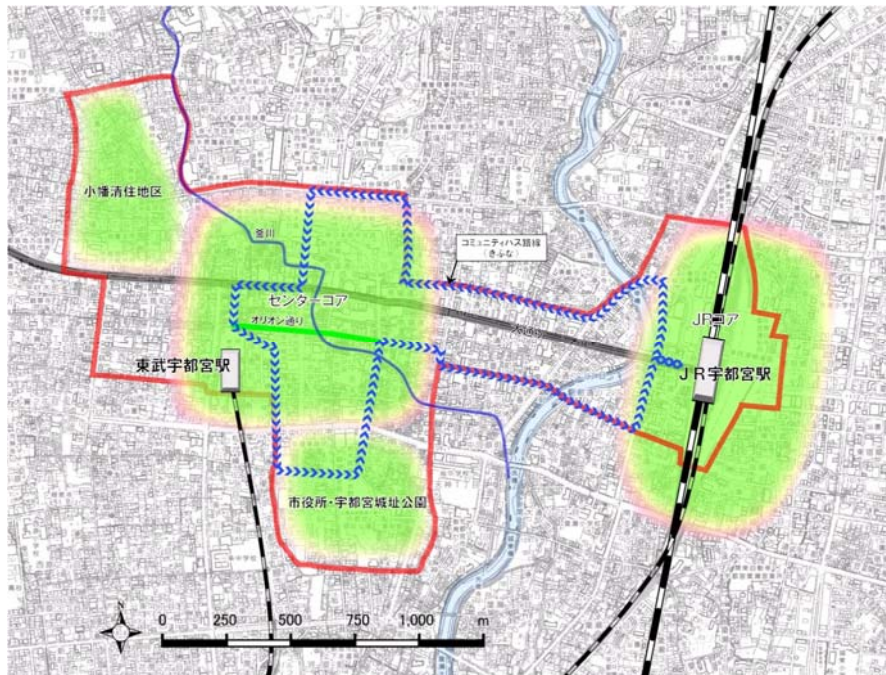
(1) 第2期計画の概要

① 計画期間

平成27年4月から令和2年3月まで（5年間）

② 面積及び区域

約168ha（赤線）



③ 将来像

「誰もが暮らしやすく 活力と賑わいあふれる中心市街地」
 ～ 宇都宮らしい楽しさと まちの風格をそなえた街なかへ ～

④ 活性化の目標

目標	目標指標
目標1：活力 宇都宮の“顔”となり市全体をけん引する活力あふれるまち	事業所数 (参考指標) 空き店舗数
目標2：賑わい 街なかならではの魅力と賑わいあふれるまち	歩行者・自転車通行量 (①平日②休日) (参考指標) 賑わいを感じる市民の割合
目標3：居住 誰もが憧れ「住みたい・住み続けたい」と思うまち	居住人口 (参考指標) 中心市街地に住みたいと思う市民の割合

⑤ 活性化戦略

- <活性化戦略1：リーディングエリアづくりによる賑わいの増強>
- <活性化戦略2：リーディングエリアに集まる賑わいの中心市街地全体への波及>
- <基盤形成戦略：持続可能なまちづくり基盤の強化>

⑥ 基本方針

- 【方針1】 経済活動が活発に行われるまちづくり
- 【方針2】 日常的に人々が行き交うまちづくり
- 【方針3】 子どもから高齢者まで安心・快適に暮らせるまちづくり

(2) 事業の進捗状況

① 46事業（うち再掲5事業）

No.	事業名	完了	実施中
1	J R宇都宮駅西口周辺地区の整備		○
2	J R宇都宮駅東口地区整備事業		○
3	宇都宮大手地区市街地再開発事業	○	
4	小幡・清住土地区画整理事業		○
5	スマートエネルギー c i t y の構築		○
6	中心商業地出店等促進事業		○
7	魅力ある商店街等支援事業		○
8	ガンバルまちなか活性化支援事業		○
9	拠点広場を活用した賑わい創出事業		○
10	宇都宮アンテナショップ「宮カフェ」運営事業		○
11	オリオン通り商店街振興組合未来創生事業		○
12	ユニオン通り商店街商業活性化事業		○
13	商店街次世代経営者育成事業	○	
14	まちづくり担い手育成事業		○
15	インキュベーション事業		○
16	公衆無線LANシステム構築事業	○	
17	魅力ある景観づくり事業		○
18	釜川整備活用事業		○
19	公共空間を活用した賑わい創出事業		○
20	中心市街地緑の回遊事業		○
21	歴史・文化財活用推進事業		○
22	中心市街地における文化振興事業		○
23	大谷石蔵等歴史的建造物保存・活用事業		○
24	民間による大谷石蔵活用事業		○
25	地域教育推進事業		○
26	「おもてなし運動」推進事業		○
27	もったいない運動の推進		○
28	中心市街地活性化ソフト事業		○
29	冬の夜間景観賑わい創出事業		○
30	「自転車のまち宇都宮」発信事業		○
31	観光情報発信強化事業（観光情報ARアプリ）		○
32	L R Tの導入		○
33	バス路線の新設・拡充		○
34	公共交通利用促進事業		○

No.	事業名	完了	実施中
35	自転車利用・活用促進事業		○
36	小幡・清住土地区画整理事業（再掲）		○
37	宇都宮大手地区市街地再開発事業（再掲）	○	
38	魅力ある景観づくり事業（再掲）		○
39	都心部道路景観整備事業（市道3号線）	○	
40	ガンバルまちなか活性化支援事業（再掲）		○
41	地域優良賃貸住宅建設費上乗せ補助		○
42	地域教育推進事業（再掲）		○
43	安全で快適なまちづくり推進事業		○
44	若年夫婦・子育て世帯家賃補助		○
45	住宅取得支援事業補助		○
46	街なか暮らし魅力発信事業		○

- ・ 完了 : 5 事業（うち再掲 1 事業）
- ・ 実施中 : 4 1 事業（うち再掲 4 事業）

② 計画期間内に事業化を目指す事業（13事業）

No.	事業名	実施主体	進捗状況
1	立地適正化計画による都市機能の誘導	宇都宮市	事業化済み
2	公共機能の再配置	宇都宮市	事業化に向け着手
3	低・未利用地の利活用事業	宇都宮市，特定非営利活動法人宇都宮まちづくり推進機構など	事業化に向け着手
4	LRTのJR宇都宮駅西側導入を見据えた街なか活性化事業	特定非営利活動法人宇都宮まちづくり推進機構，宇都宮商工会議所など	事業化に向け着手
5	空き店舗等の活用促進事業	商工会議所，宇都宮市，特定非営利活動法人宇都宮まちづくり推進機構，商店街など	事業化済み
6	快適な自転車利用空間整備事業	商店街など	事業化に向け着手
7	生活支援サービス提供事業	宇都宮商工会議所，宇都宮市，特定非営利活動法人宇都宮まちづくり推進機構，宇都宮市社会福祉協議会，商店街など	調査・研究に着手
8	プロスポーツと連携した商店街活性化事業	宇都宮商工会議所，商店街，各プロスポーツチーム	事業化済み
9	街なか活動ポイント制度事業	特定非営利活動法人宇都宮まちづくり推進機構，宇都宮市社会福祉協議会，商店街など	事業化に向け着手
10	アートによる賑わい創出事業	宇都宮商工会議所	既存事業と統合 (民間イベントと統合)
11	宇都宮ふびす市事業	宇都宮商工会議所	事業化済み
12	愉快的街の得するゼミナール教室事業	宇都宮商工会議所	事業化済み
13	中心市街地活性化策提案事業	中心市街地活性化協議会	事業化済み

- ・ 事業化済み : 6事業
- ・ 事業化に向け着手 : 5事業
- ・ 調査・研究に着手 : 1事業
- ・ 既存事業と統合 : 1事業

(3) 数値目標の達成状況

① 数値目標 1 : 事業所数

(ア) 達成状況

「事業所数」は、平成28(2016)年は2,532事業所で、目標値を下回っています。

基準値 (平成24年)	目標値 (平成31年)	▶	現状値 (平成28年)
2,548 事業所	2,576 事業所		2,532 事業所

※平成30(2018)年の調査結果については、令和2(2020)年春以降に公表。

(イ) 参考指標 : 空き店舗数の達成状況

「空き店舗数」は、令和元(2019)年は25店舗であり、目標値を達成しています。

基準値 (平成26年)	目標値 (平成31年)	▶	現状値 (令和元年)
75 店舗	47 店舗		25 店舗

② 数値目標 2 : 歩行者・自転車通行量 (平日・休日, 28地点)

(ア) 達成状況

歩行者・自転車通行量は、令和元(2019)年は平日が92,303人、休日が91,512人であり、目標値を下回っています。

	基準値 (平成25年)	目標値 (平成31年)	▶	現状値 (令和元年)
平日	99,428 人	107,400 人		92,303 人
休日	116,189 人	130,000 人		91,512 人

(イ) 参考指標：賑わいを感じる市民の割合

「賑わいを感じる市民の割合」は、平成30（2018）年の中心市街地の活性化に関する市民アンケート調査の結果、33.4%と目標を達成しています。

基準値 (平成25年)	目標値 (平成31年)	▶	現状値 (平成30年)
24.5%	30.0%		33.4%

③ 数値目標3：居住人口

(ア) 達成状況

居住人口は、平成30（2018）年は8,447人であり、令和元（2019）年5月には8,567人まで増加しましたが、基準月にあたる9月時点においては、8,542人で、目標値にわずか8人足らず、目標を達成することはできませんでした。

基準値 (平成26年)	目標値 (平成31年)	▶	現状値 (令和元年)
8,358人	8,550人		8,542人

(イ) 参考指標：中心市街地に住んでみたいと思う市民の割合

「中心市街地に住んでみたいと思う市民の割合」は、平成30（2018）年は7.5%と5年前に比べ低下しています。

基準値 (平成25年)	目標値 (平成31年)	▶	現状値 (平成30年)
8.4%	10%		7.5%

(4) 第2期計画の総括

① 活力：経済活力を示す指標は減少傾向にあるものの、一定の活力を創出

大規模商業施設が郊外に立地している影響や、時代潮流の変化により「モノ消費」から「コト消費」へと移行していること等に伴う消費行動の変容，さらにはICT技術等の進展等に伴う経済活動の変化等を背景に，中心市街地の「事業所数」や「従業者数」などの経済活力を示す指標が減少傾向にあります。

こうした状況の中でも，各種取組の実施により，オリオン通りを有する曲師町や江野町においては，「宿泊・飲食業」が一定の事業所数を保持し，空き店舗が解消されつつあるほか，夜間の通行量は増加傾向にあるなど，活力創出に一定の取組成果はあったと考えられます。

② 賑わい：平日の賑わいは伸び悩んでいるものの，休日・夜間の賑わいが創出

本市では，自動車保有台数が増加傾向にあり，中心市街地への来訪手段も約6割が自家用車であることから，コインパーキングなどの需要が依然として高く，有効活用されていない土地が点在する要因となっています。

一方で，中心市街地における平日の歩行者・自転車通行量は，事業所数・従業者数の減少などの影響もあり伸び悩んでいます。拠点広場等における多彩なイベントの開催や飲食店舗の増加等により週末・夜間を中心とした歩行者・自転車通行量は増加傾向にあるなど，賑わい創出の取組成果があったものと考えられます。

③ 居住：世帯構成には偏りがあるものの，人口は増加傾向

大手地区市街地再開発事業などによる分譲マンションの供給や，若年夫婦・子育て世帯等に対する家賃・住宅取得補助などの居住支援策などにより，中心市街地内の人口は回復傾向にあります。その一方で，中心市街地は市全体と比較して，少子高齢化の傾向が顕著であり，家族世帯（夫婦と子どもがいる世帯）が少なく，単身世帯が多い状況にあるなど，世帯構成に偏りがあります。

多様な世代・世帯の誘導・定住には至っていないものの，居住人口は増加しつつあり，住宅供給や居住促進策等の取組の成果が見られます。今後は，居住者の生活環境の向上に向けた取組にも力を入れていく必要があります。

④ 第2期計画の総括

第2期計画の取組を実施したことにより，中心市街地において，賑わいや活力の基礎となる人口が増加傾向にあり，多様な主体による多彩なイベントが実施され，そのことが定着し始めました。また，空き店舗が解消しはじめ，飲食店舗が増加するなど，恒常的な賑わい創出や経済活力の向上への機運や環境が醸成されつつあります。

また，中心市街地には，釜川をはじめとした多くの自然的資源，二荒山神社をはじめとした歴史的資源のほか，餃子などの食や文化芸術，イベントなど多様な資源があり，宇都宮市内はもちろんのこと，市内外からの誘客を図るポテンシャルを有しています。

今後は，事業所数や従業者数など，働く場の確保や働く人の環境の向上などが課題となるほか，消費行動の変容やニーズを踏まえた多様性のある商店街の形成，まちの個性や魅力を活かした回遊性向上に向けた取組，公共交通によるアクセス性の向上，多様な世代・世帯の居住促進といった課題に引き続き取り組んでいく必要があります。